

## 2.5.4 目的種別・市町村間トリップ数

### (1) 全目的

- 市町村間のトリップ数は、平日・休日ともに、仙台市関連で多く、特に仙台市と富谷市・多賀城市・名取市間で5万トリップを超えている。

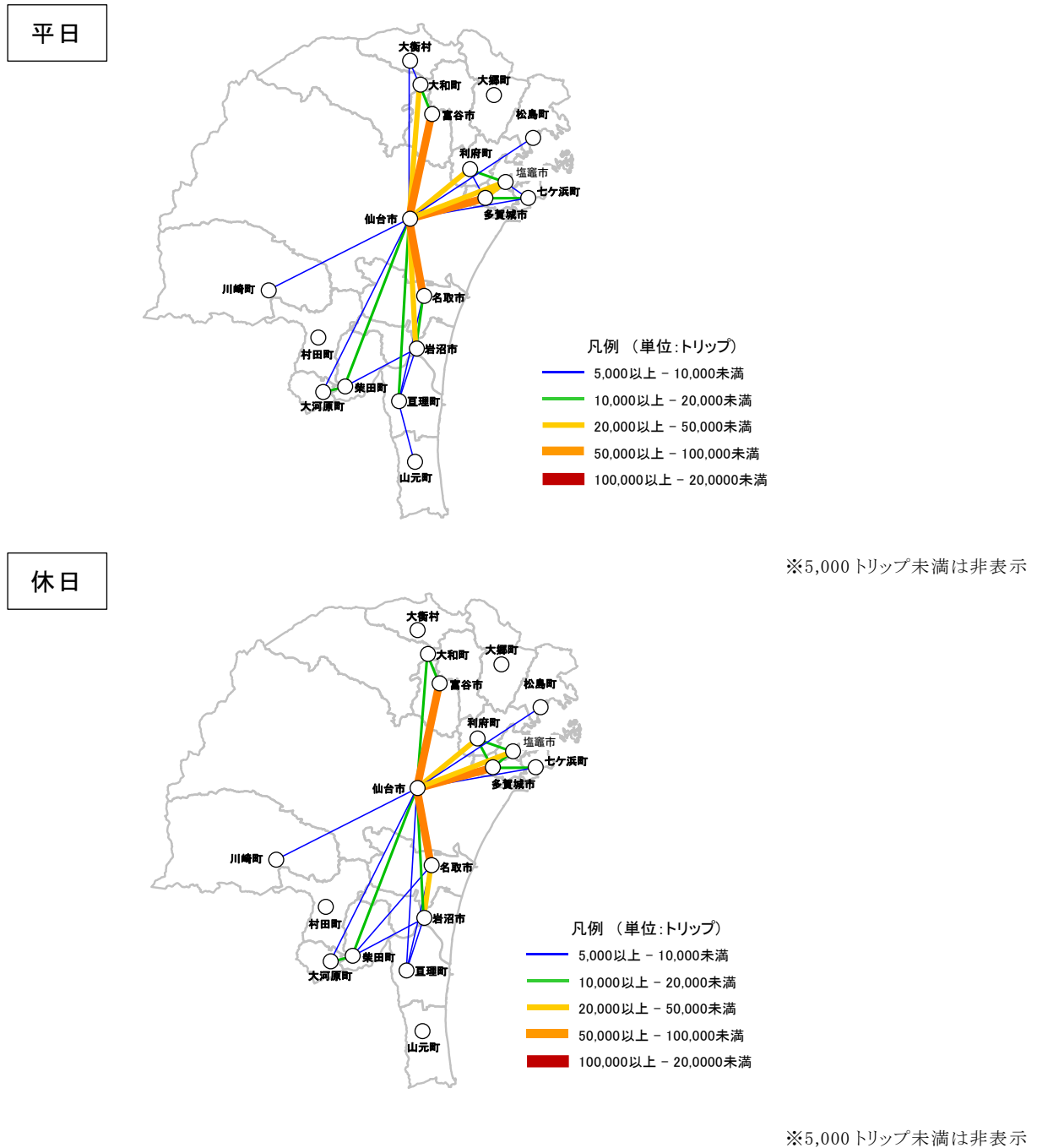
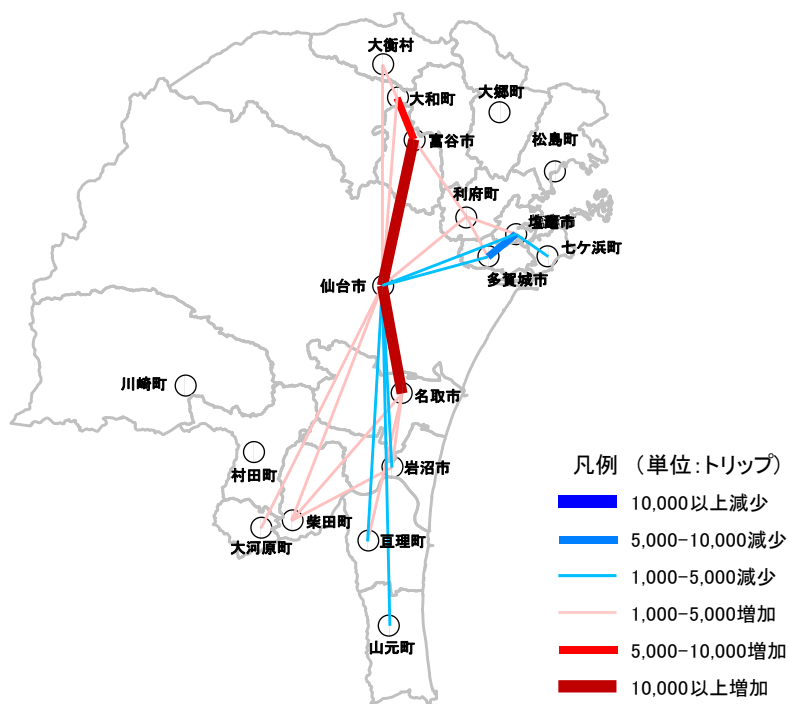
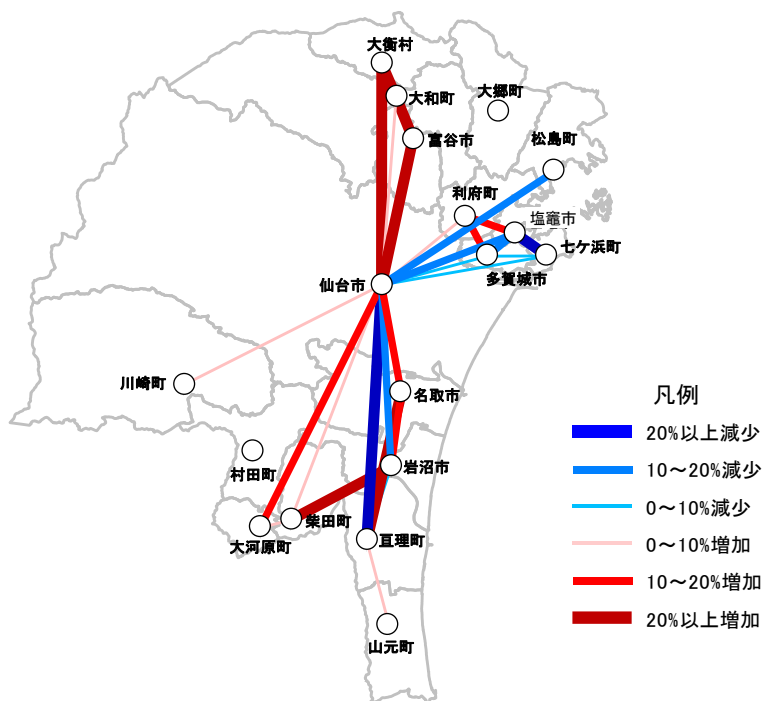


図 2-98 市町村間トリップ数 (全目的、全手段)

- 第4回に対する増加量が最も大きかったのは、仙台市と富谷市・名取市との間であり、1万トリップ以上（第4回に対して、富谷市で20%以上、名取市で10%以上）増加している。



トリップの増加分・減少分が1,000未満は非表示

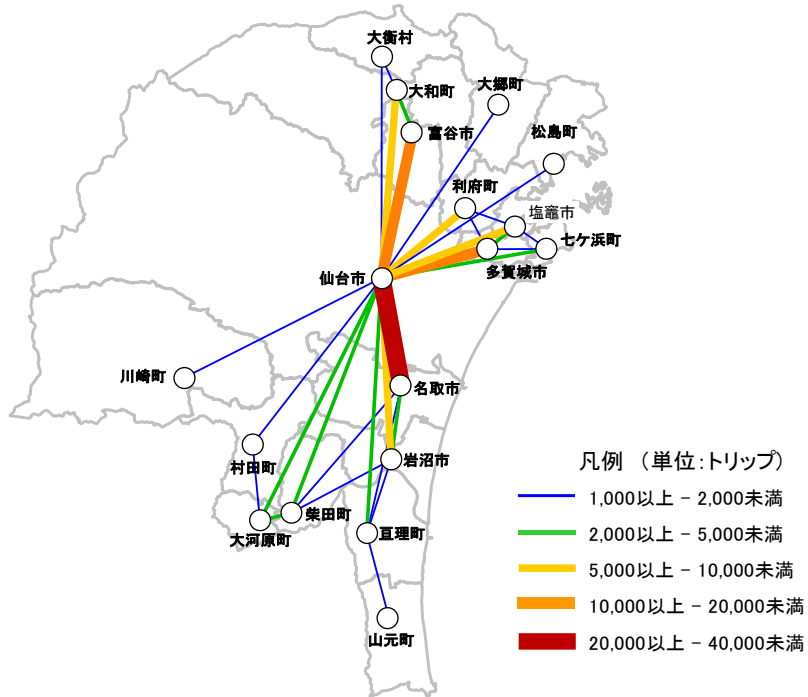


※第5回(平日)のトリップ数が5,000以上の市町村間を対象に表示

図 2-99 平日の市町村間トリップ数の第4回に対する増減量（上）、増減率（下）

## (2) 通勤目的

- 平日における通勤目的の市町村間トリップ数は、仙台市関連で多く、特に仙台市と名取市間で2万トリップ、仙台市と富谷市・多賀城市間で1万トリップを超えている。

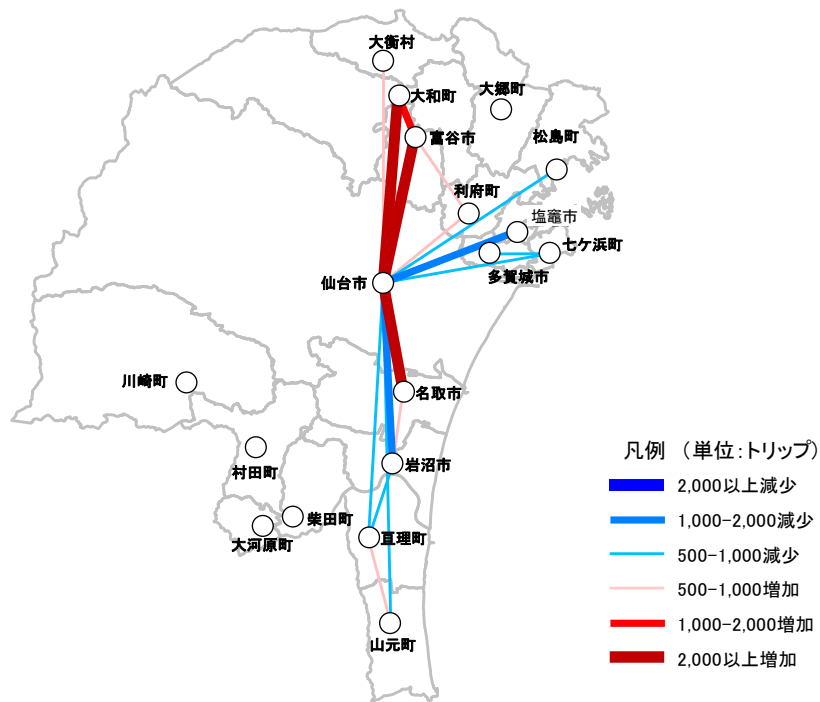


※1,000トリップ未満は非表示

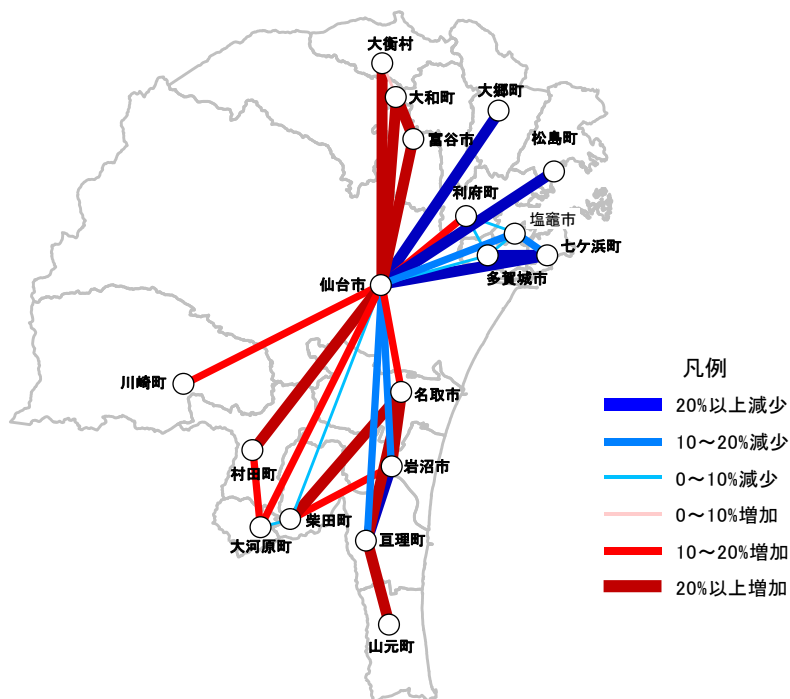
図 2-100 平日の市町村間通勤目的トリップ数（全手段）

※2,800トリップ以下は精度保証以下のため参考扱い

- 第4回に対する増加量が最も大きかったのは、仙台市と富谷市・大和町・名取市との間であり、2千トリップ以上（第4回に対して、富谷市と大和町で20%以上、名取市で10%以上）増加している。



※トリップの増加分・減少分が500未満は非表示



※第5回(平日)のトリップ数が1,000以上の市町村間を対象に表示

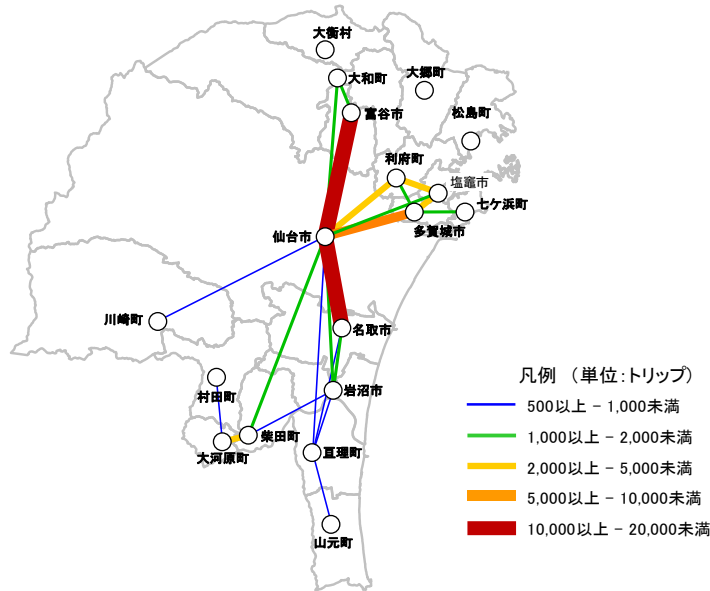
図 2-101 平日の市町村間通勤目的トリップ数の第4回に対する増減量(上)、増減率(下)



### (3) 買物目的

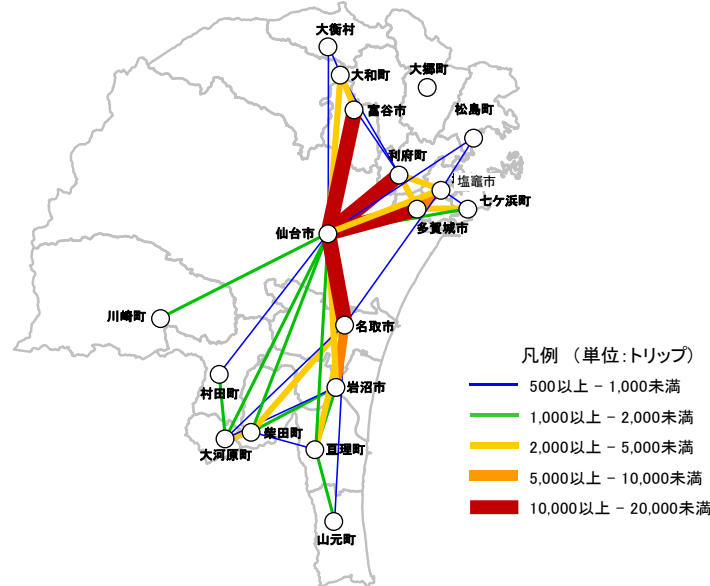
- ・ 買物目的の市町村間トリップ数は、平日・休日ともに、仙台市関連が多い。
- ・ 平日における買物目的の市町村間トリップ数は仙台市と富谷市・名取市間、休日における買物目的の市町村間トリップ数は仙台市と名取市・多賀城市・富谷市・利府町間で1万トリップを超えている。

平日



※500トリップ未満は非表示

休日

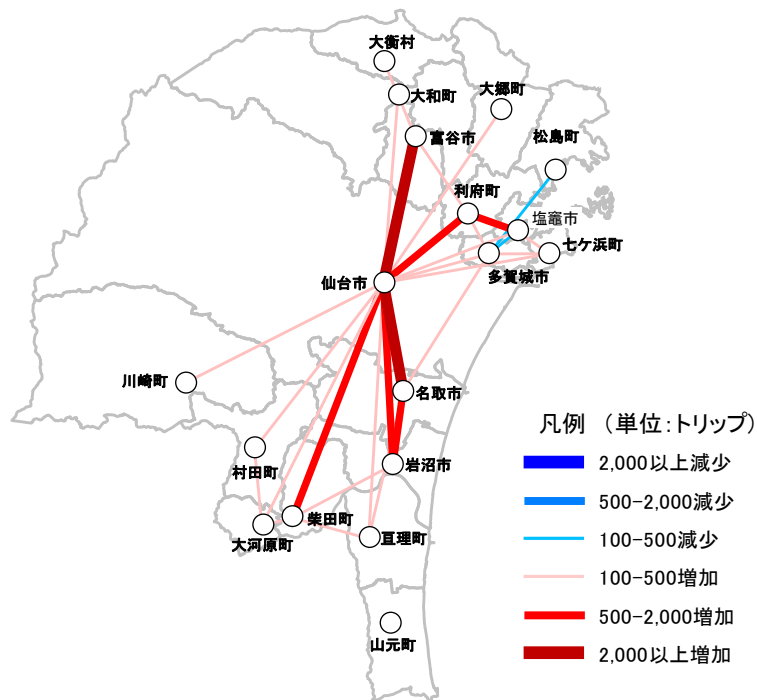


※500トリップ未満は非表示

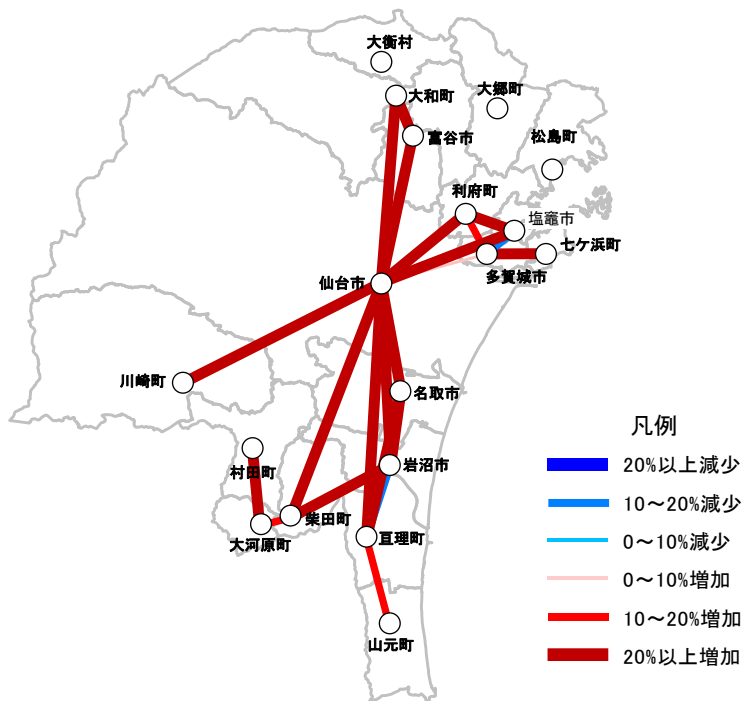
図 2-102 市町村間買物目的トリップ数（全手段）

※2,800トリップ以下は精度保証以下のため参考扱い

- 第4回に対する増加量が大きかったのは、仙台市と名取市・富谷市との間であり、2千トリップ以上（第4回に対して20%以上）増加している。



※トリップの増加分・減少分が100未満は非表示



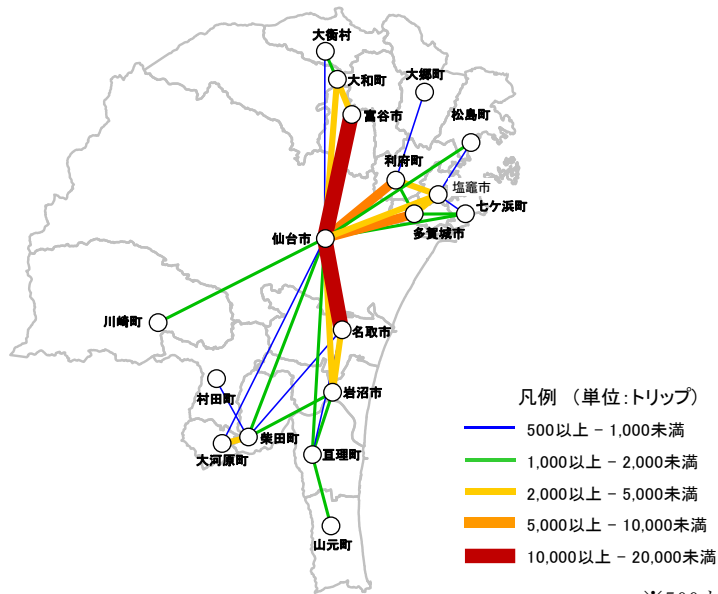
※第5回(平日)のトリップ数が500以上の市町村間を対象に表示

図 2-103 平日の市町村間買物目的トリップ数の第4回に対する増減量(上)、増減率(下)

#### (4) 私事目的

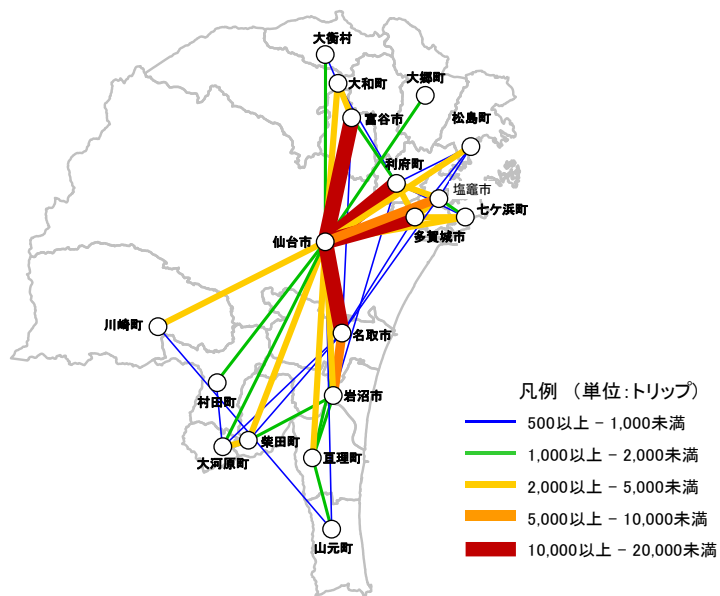
- ・ 私事目的の市町村間トリップ数は、平日・休日ともに、仙台市関連が多い。
- ・ 平日における私事目的の市町村間トリップ数は仙台市と名取市・富谷市間、休日における私事目的の市町村間トリップ数は仙台市と名取市・多賀城市・富谷市・利府町間で1万トリップを超えている。

平日



※500トリップ未満は非表示

休日

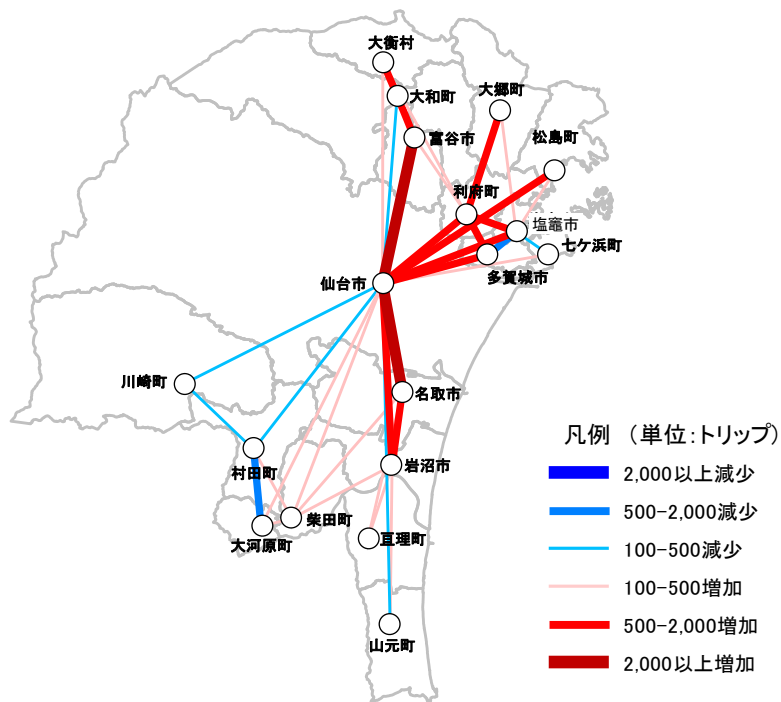


※500トリップ未満は非表示

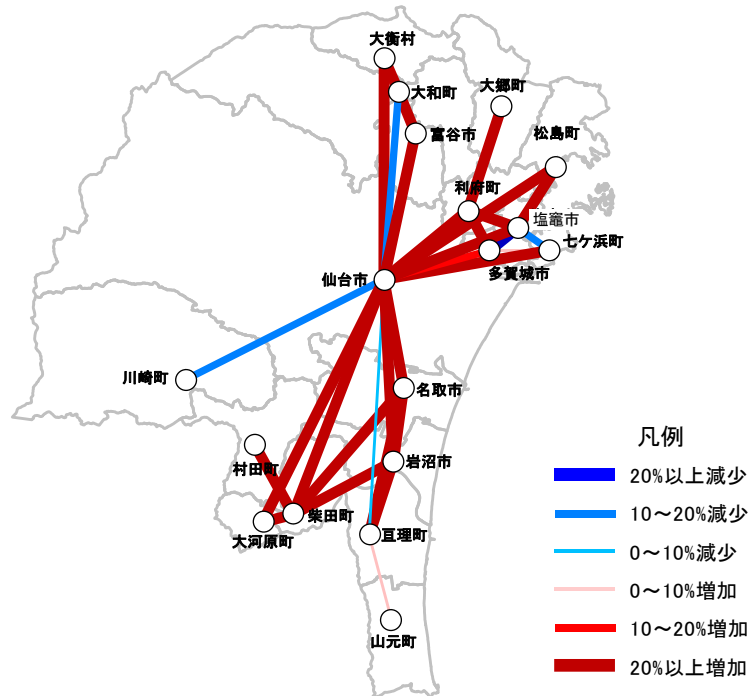
図 2-104 市町村間私事目的トリップ数（全手段）

※2,800トリップ以下は精度保証以下のため参考扱い

- 第4回に対する増加量が大きかったのは、仙台市と名取市・富谷市との間であり、2千トリップ以上（第4回に対して20%以上）増加している。



※トリップの増加分・減少分が100未満は非表示

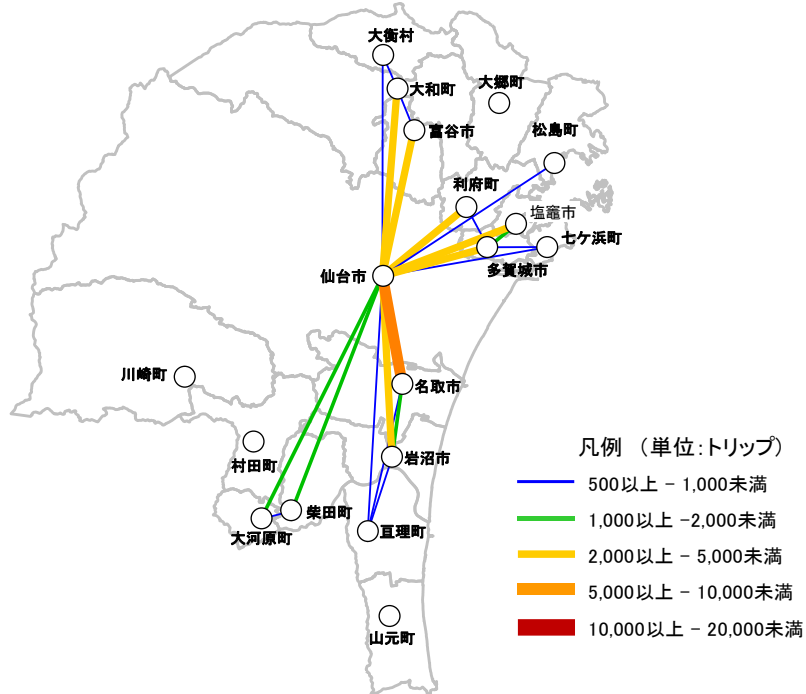


※第5回(平日)のトリップ数が500以上の市町村間を対象に表示

図 2-105 平日の市町村間私事目的トリップ数の第4回に対する増減量(上)、増減率(下)

(5) 業務目的

- 平日における業務目的の市町村間トリップ数は、仙台市関連で多く、特に仙台市と名取市間で5千トリップを超えている。

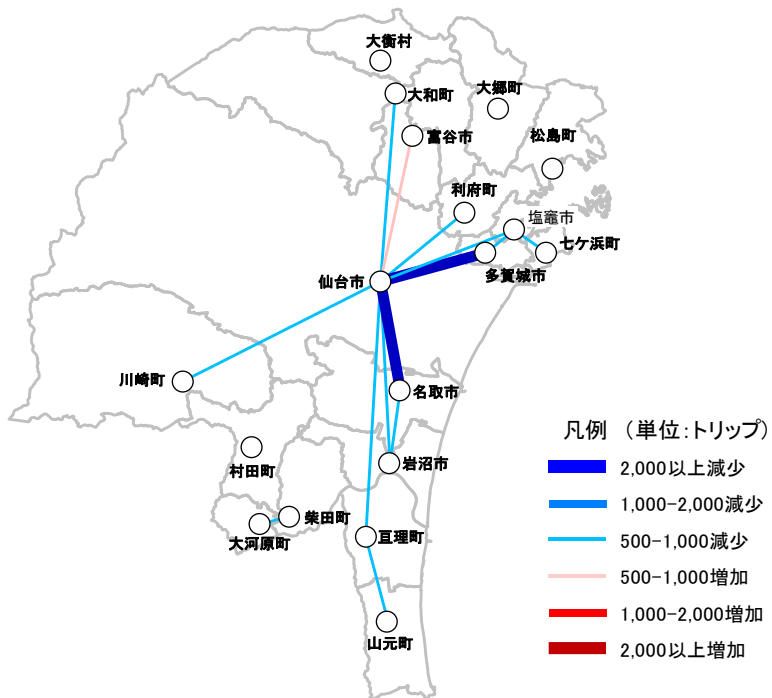


※500トリップ未満は非表示

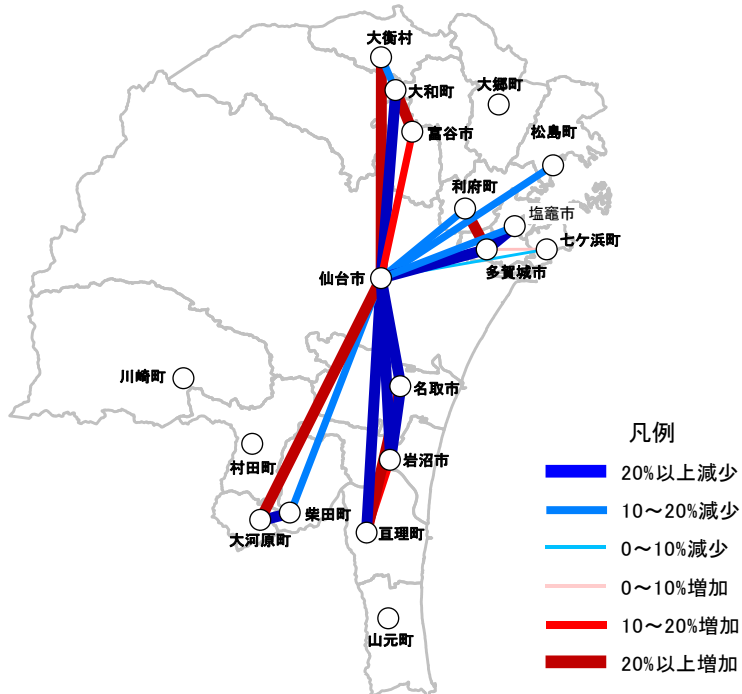
図 2-106 平日の市町村間業務目的トリップ数 (全手段)

※2,800トリップ以下は精度保証以下のため参考扱い

- 第4回に対する減少量が大きかったのは、仙台市と名取市・多賀城市との間であり、2千トリップ以上（第4回に対して20%以上）減少している。



※トリップの増加分・減少分が500未満は非表示



※第5回(平日)のトリップ数が500以上の市町村間を対象に表示

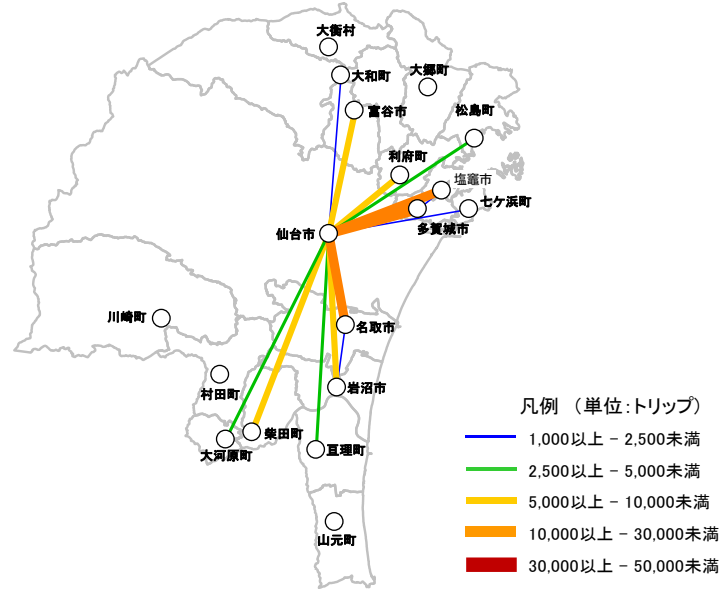
図 2-107 平日の市町村間業務目的トリップ数の第4回に対する増減量(上)、増減率(下)

## 2.5.5 代表交通手段別・市町村間トリップ数

### (1) 鉄道

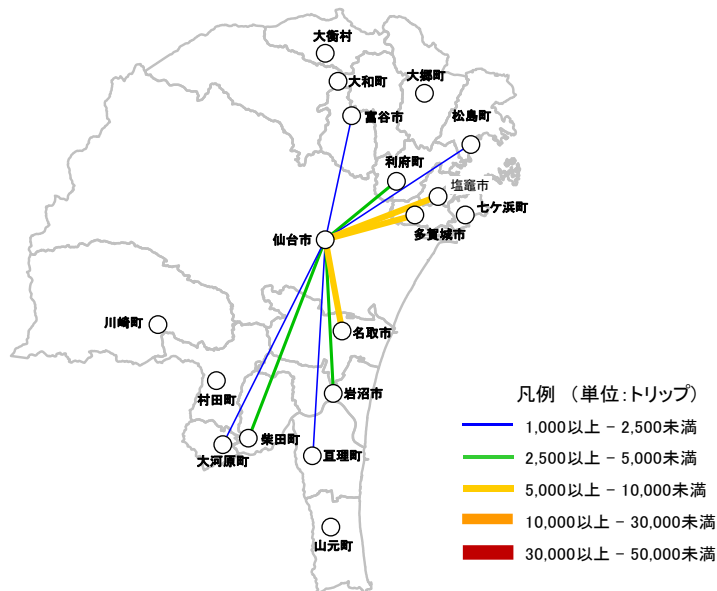
- ・ 市町村間の鉄道利用トリップ数は、平日・休日ともに、仙台市関連が多い。
- ・ 市町村間鉄道トリップ数は、仙台市と塩竈市・名取市・多賀城市間で、平日に1万トリップ、休日に5千トリップを超えている。

平日



※1,000トリップ未満は非表示

休日

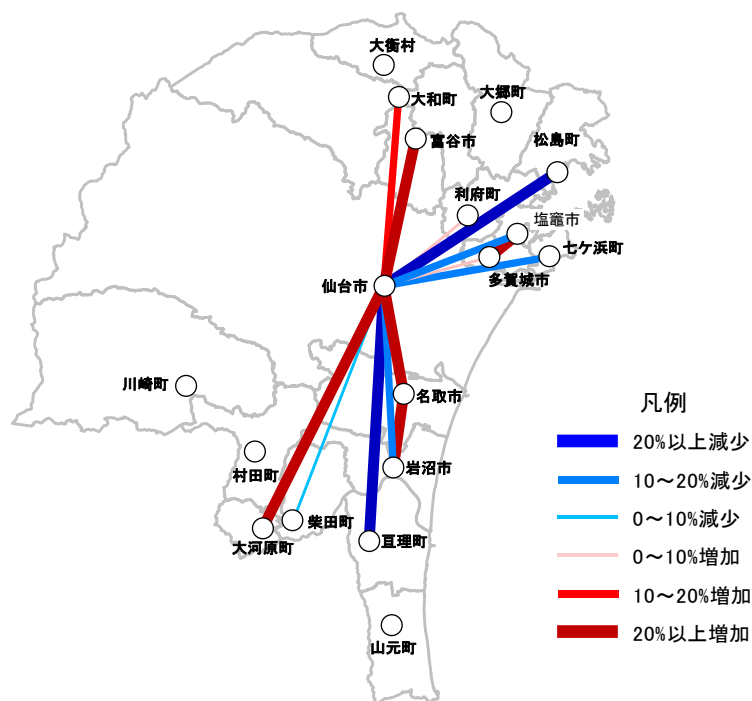
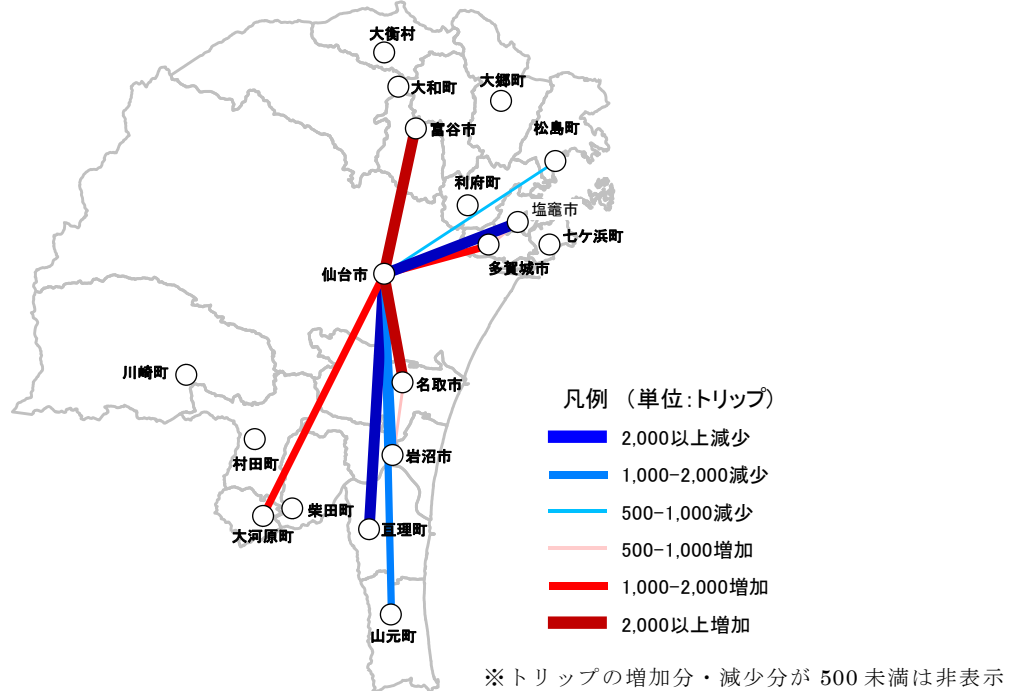


※1,000トリップ未満は非表示

図 2-108 市町村間鉄道利用トリップ数

※2,800トリップ以下は精度保証以下のため参考扱い

- ・ 第4回に対する増加量が大きかったのは、仙台市と名取市・富谷市との間であり、2千トリップ以上（第4回に対して20%以上）増加している。
- ・ 第4回に対する減少量が大きかったのは、仙台市と塩竈市・亶理町との間であり、2千トリップ以上（第4回に対して、塩竈市で10%以上、亶理町で20%以上）減少している。また、仙台市と松島町間の減少率も20%以上となっている。



※第5回(平日)のトリップ数が1,000以上の市町村間を対象に表示

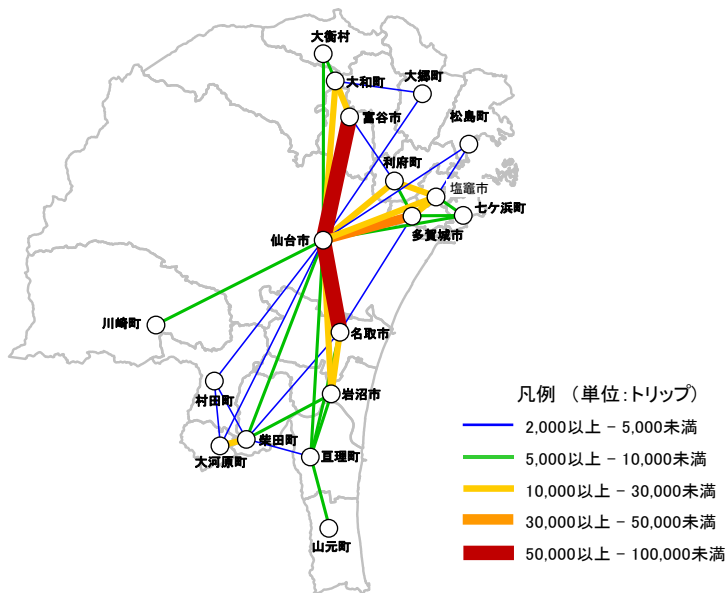
図 2-109 平日の市町村間鉄道利用トリップ数の第4回に対する増減量(上)、増減率(下)



## (2) 自動車

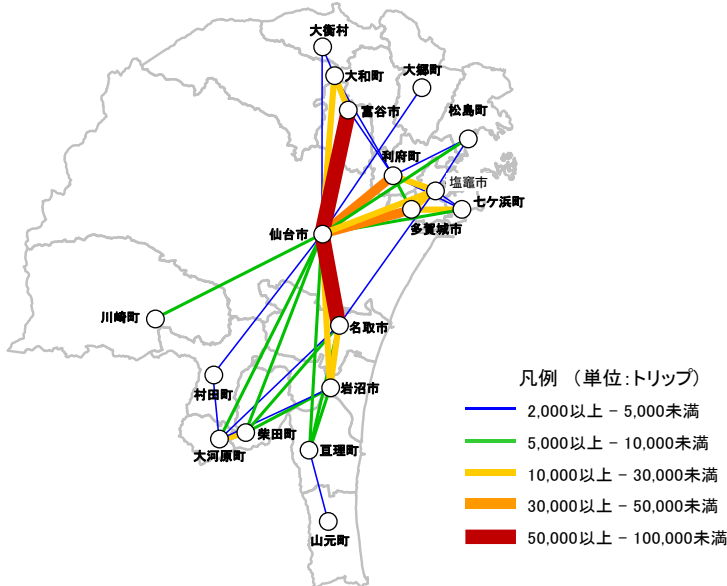
- 市町村間の自動車利用トリップ数は、平日・休日ともに仙台市関連で多く、いずれも仙台市と富谷市・名取市間で5万トリップを超えている。

平日



※2,000 トリップ未満は非表示

休日

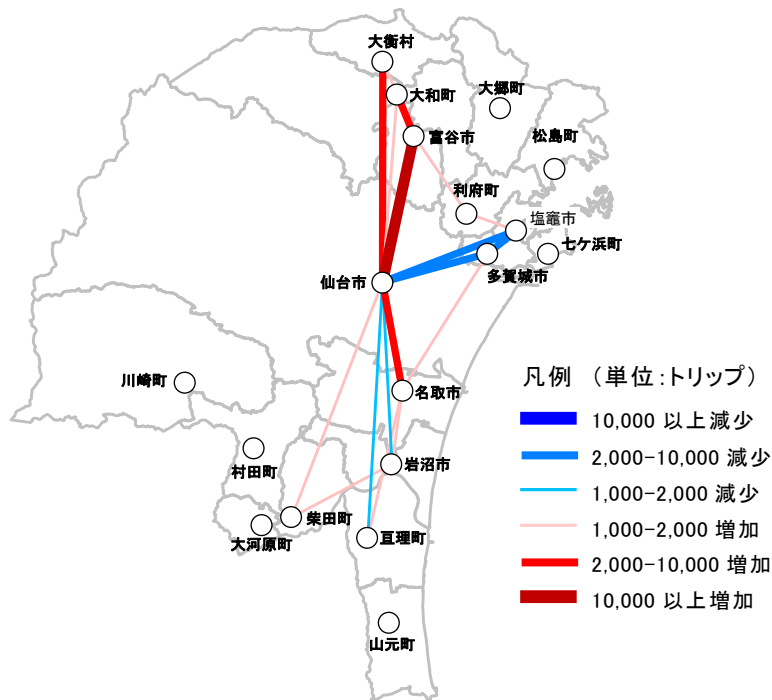


※2,000 トリップ未満は非表示

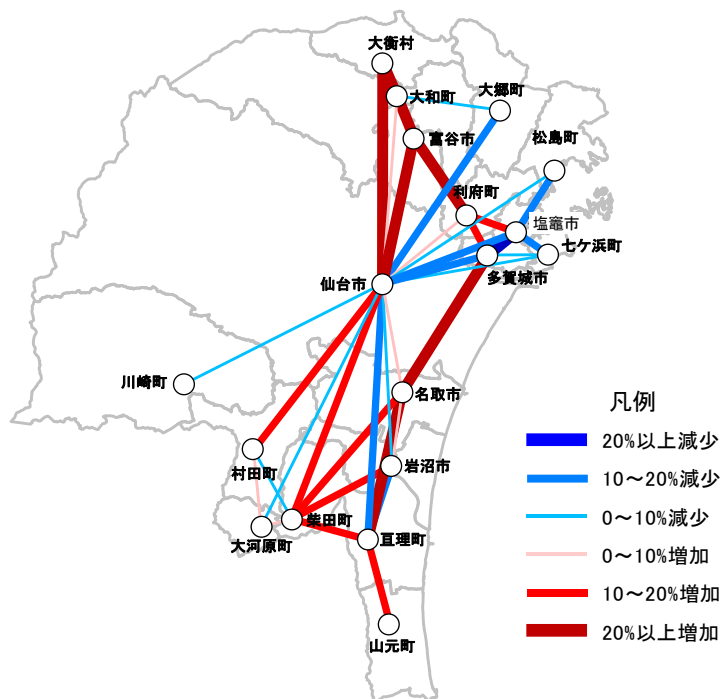
図 2-110 市町村間自動車利用トリップ数

※2,800トリップ以下は精度保証以下のため参考扱い

- 第4回に対する増加量が最も大きかったのは、仙台市と富谷市との間であり、1万トリップ以上（第4回に対して20%以上）増加している。



※トリップの増加分・減少分が1,000未満は非表示



※第5回(平日)のトリップ数が2,000以上の市町村間を対象に表示

図 2-111 平日の市町村間自動車利用トリップ数の第4回に対する増減量（上）、増減率（下）

## 2.5.6 目的種別・市町村別平均所要時間

### (1) 全目的

- ・ 自宅発トリップの所要時間は、多くの市町村で増加しており、名取市や川崎町では第4回と比べて5分以上所要時間が増加している。
- ・ その一方で、亘理町、山元町、大郷町、大衡村では、所要時間が減少している。

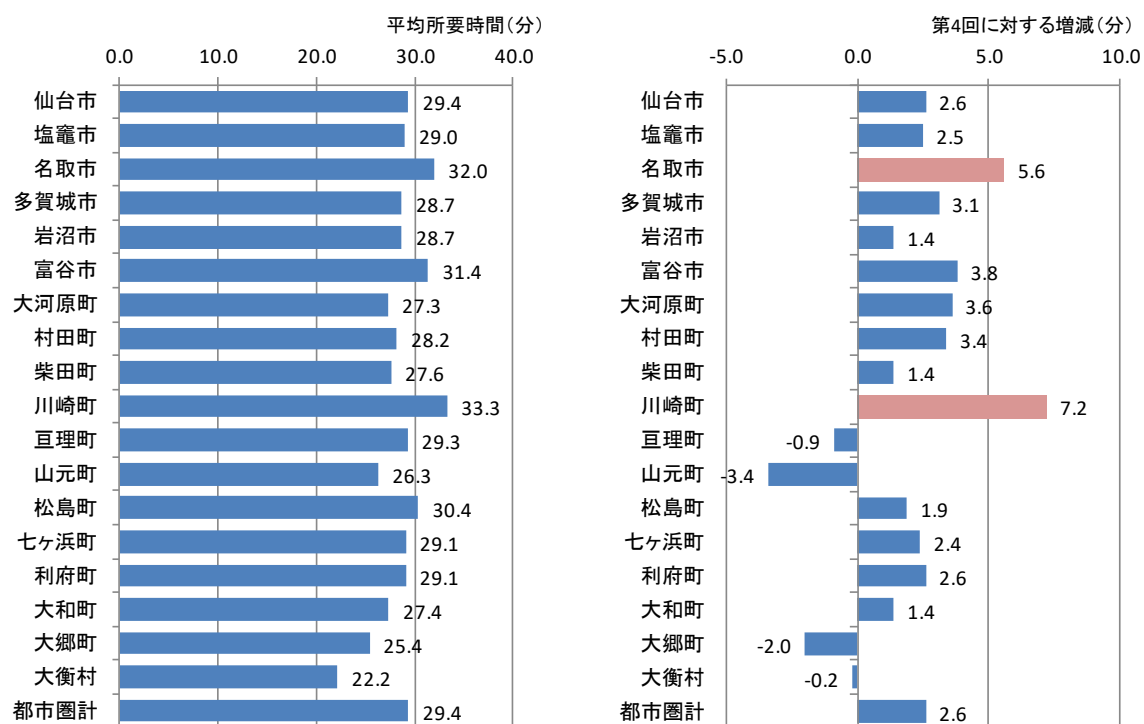


図 2-112 市町村別平均所要時間（左）と第4回に対する増減（右）（全目的、全手段）

※自宅発トリップを集計  
 ※ピンク表示は、第4回から5.0分以上増加した市町村

## (2) 通勤目的

- ・ 通勤目的所要時間は、30分前後の市町村が多くなっている。
- ・ 第4回と比べて、多くの市町村で増加しており、仙台市や名取市、大河原町、村田町、川崎町、利府町では、3分以上の増加となっている。
- ・ 岩沼市や亶理町、山元町、大郷町では、所要時間が減少している。

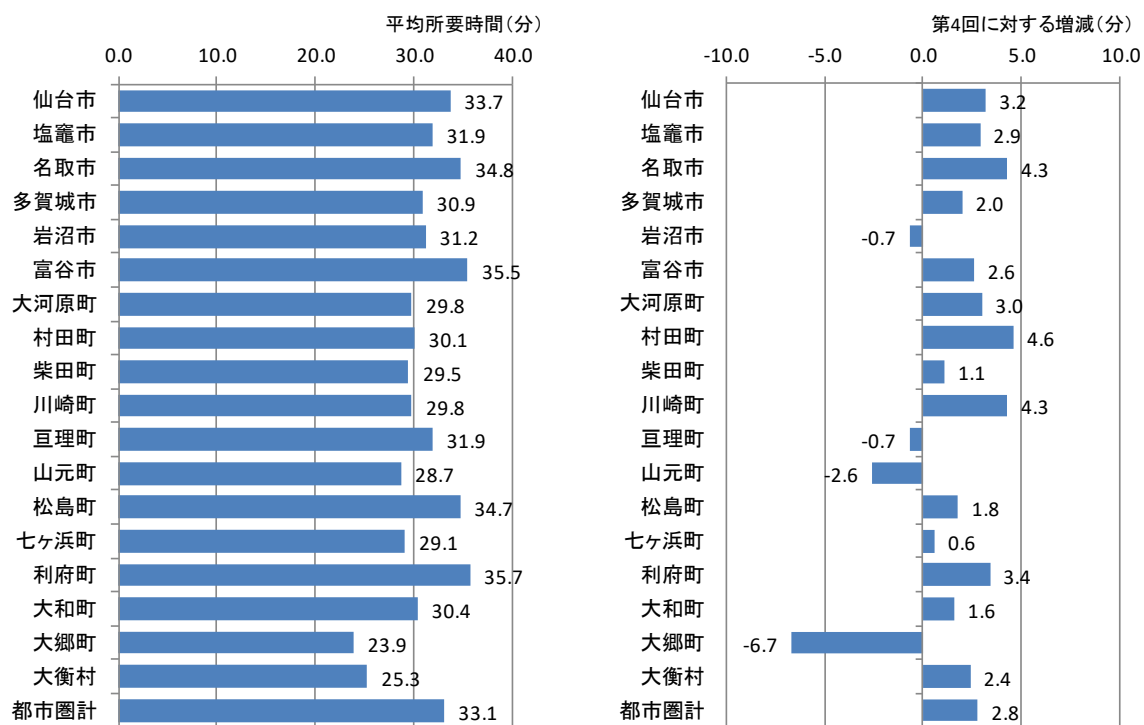


図 2-113 市町村別通勤目的平均所要時間（左）と第4回に対する増減（右）（全手段）

※自宅発トリップを集計

### (3) 通学目的

- ・ 通学目的所要時間は、30分前後の市町村が多いが、村田町や川崎町、山元町、七ヶ浜町では40分程度と他の市町村よりも所要時間が長くなっている。
- ・ 第4回と比べて、多くの市町村で増加しており、特に村田町、川崎町、山元町では5分以上の増加となっている。
- ・ その一方で、塩竈市や柴田町、亶理町、松島町、利府町、大和町、大衡村では通学目的の所要時間が減少しており、特に松島町では10分以上の減少となっている。

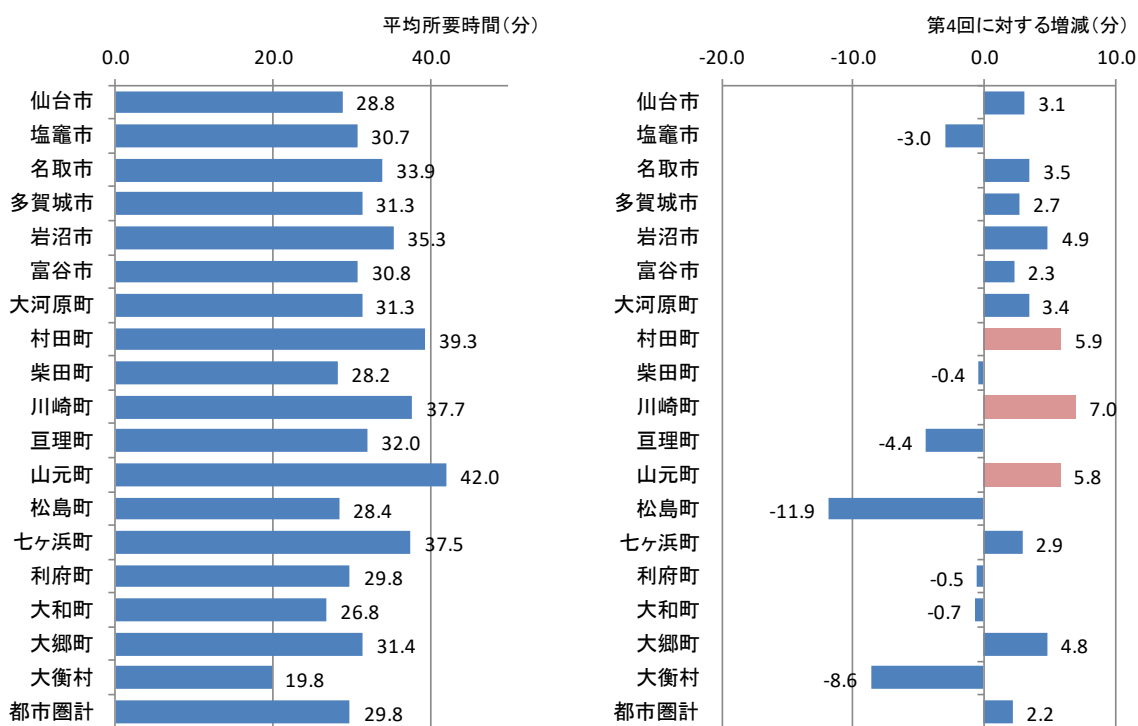


図 2-114 市町村別通学目的平均所要時間（左）と第4回に対する増減（右）（全手段）

※自宅発トリップを集計  
 ※ピンク表示は、第4回から5.0分以上増加した市町村

#### (4) 買物目的

- ・ 自宅発買物目的トリップの所要時間は、15～20 分の市町村が多い中で、川崎町では 40 分以上と他の市町村よりも所要時間が長い。
- ・ 第 4 回と比べると、所要時間が増加している市町村が多いが、その中でも塩竈市や柴田町、川崎町では 5 分以上増加している。

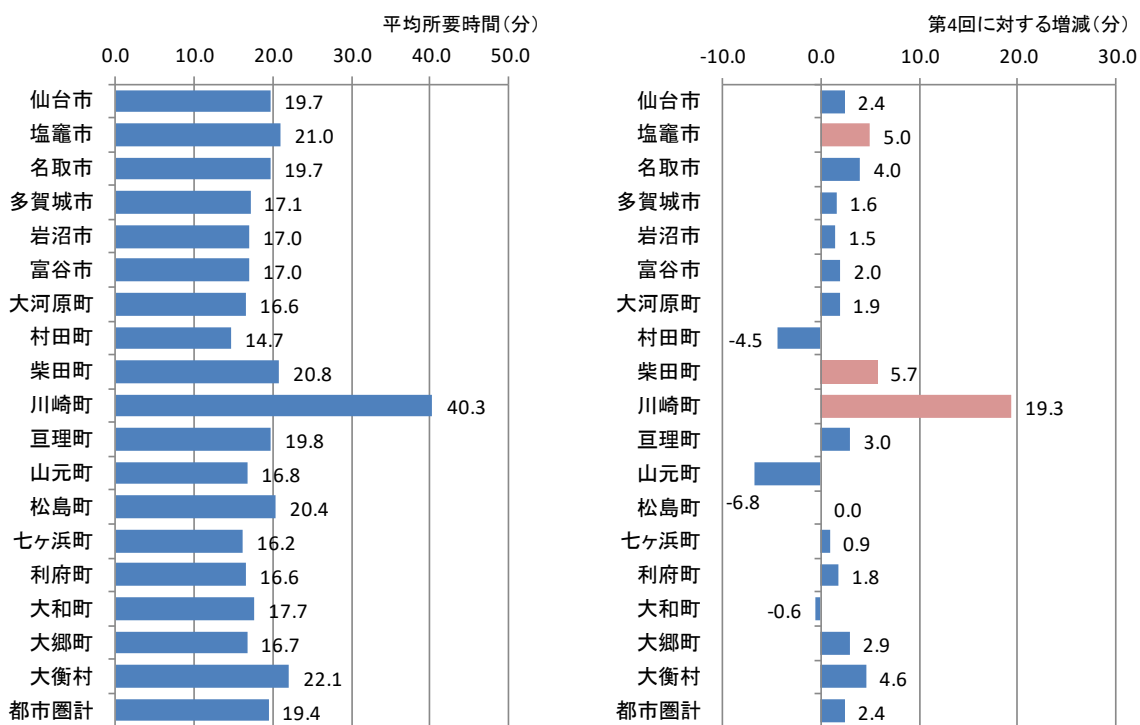


図 2-115 市町村別買物目的平均所要時間（左）と第 4 回に対する増減（右）（全手段）

※自宅発トリップを集計  
 ※ピンク表示は、第 4 回から 5.0 分以上増加した市町村

### (5) 私事目的

- ・ 自宅発私事目的トリップの所要時間は、25分前後の市町村が多くなっている。
- ・ 第4回と比べると、所要時間が5分以上増加している市町村が多いが、村田町や山元町、大衡村では所要時間が減少している。

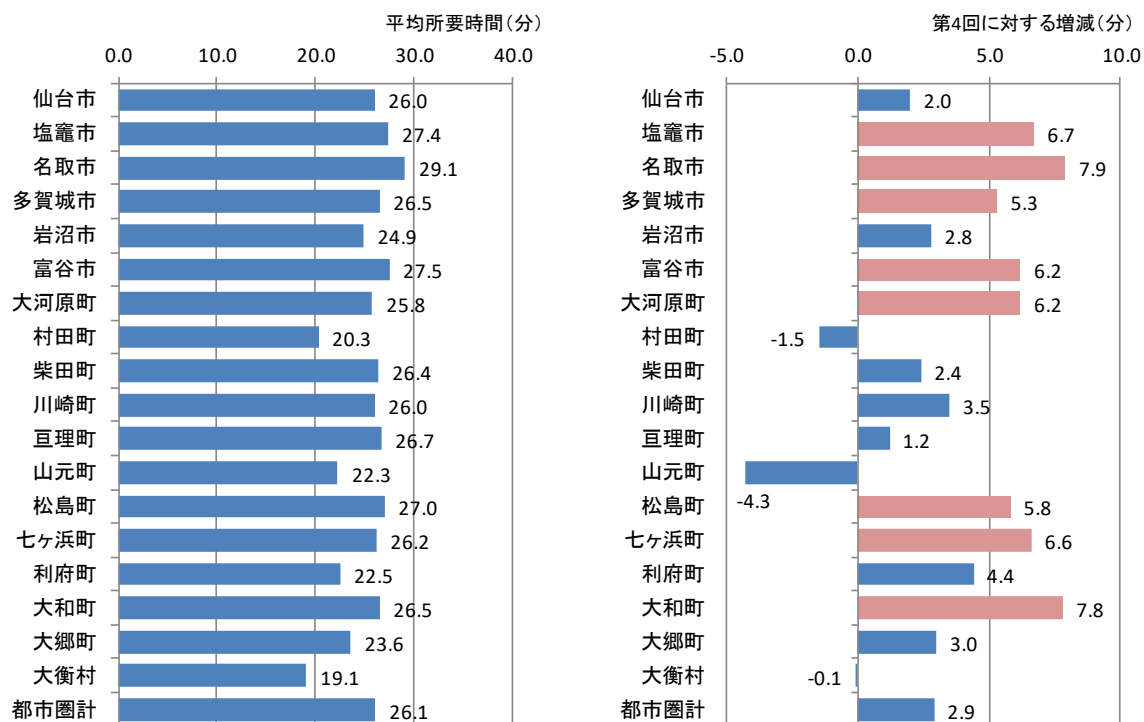


図 2-116 市町村別私事目的平均所要時間（左）と第4回に対する増減（右）（全手段）

※自宅発トリップを集計  
 ※ピンク表示は、第4回から5.0分以上増加した市町村

## (6) 業務目的

- ・ 自宅発業務目的トリップの所要時間は、市町村で差異があり、仙台市や名取市、岩沼市、富谷市、川崎町、七ヶ浜町、利府町では都市圏平均よりも所要時間が長い。
- ・ 第4回と比べると、増加している市町村が多く、名取市や岩沼市、富谷市、川崎町、松島町では20分以上所要時間が増加している。

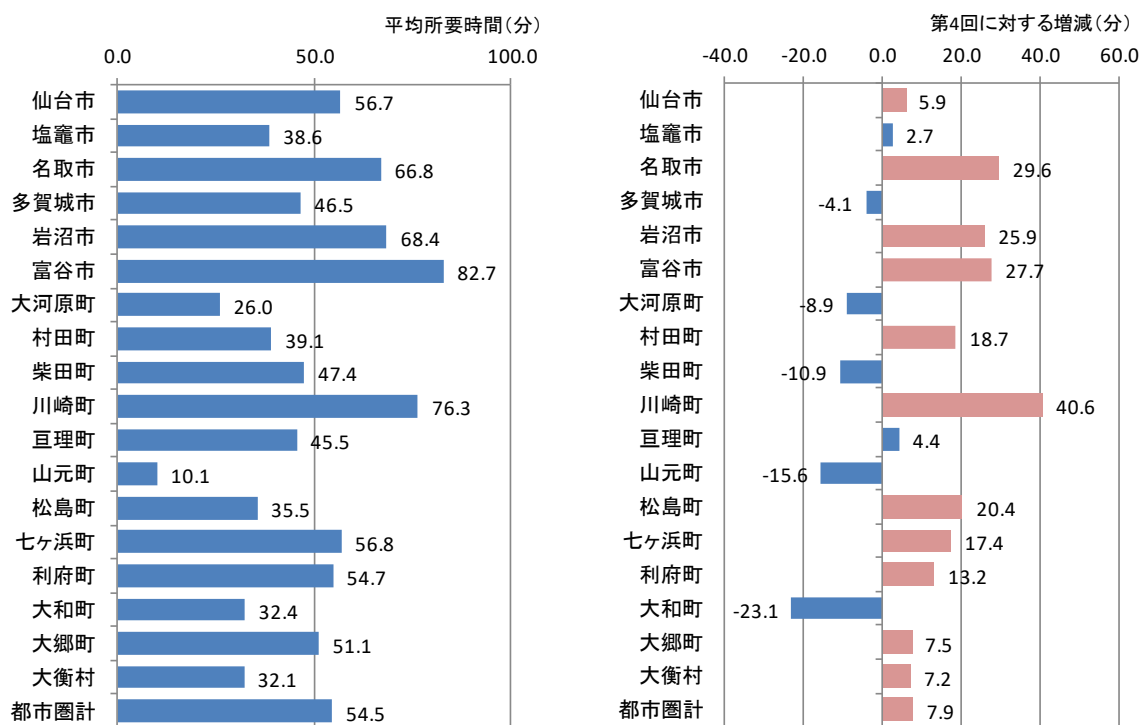


図 2-117 市町村別業務目的平均所要時間（左）と第4回に対する増減（右）（全手段）

※自宅発トリップを集計  
 ※ピンク表示は、第4回から5.0分以上増加した市町村



## 2.6 居住形態・着施設による交通特性

### 2.6.1 住居形態からみた交通特性

#### (1) 住居形態別外出率、1人あたりトリップ数

- ・ 住居形態によらず、平日と比較して休日の外出率は低い。また、他の住居形態居住者と比較して、高齢者集合住宅居住者の外出率は低い。
- ・ 持ち家・借家ともに、一戸建て居住者より、アパート・マンション居住者の外出率が高い。
- ・ 一戸建て・アパート・マンションともに、持ち家居住者と借家居住者の外出率は同程度である。

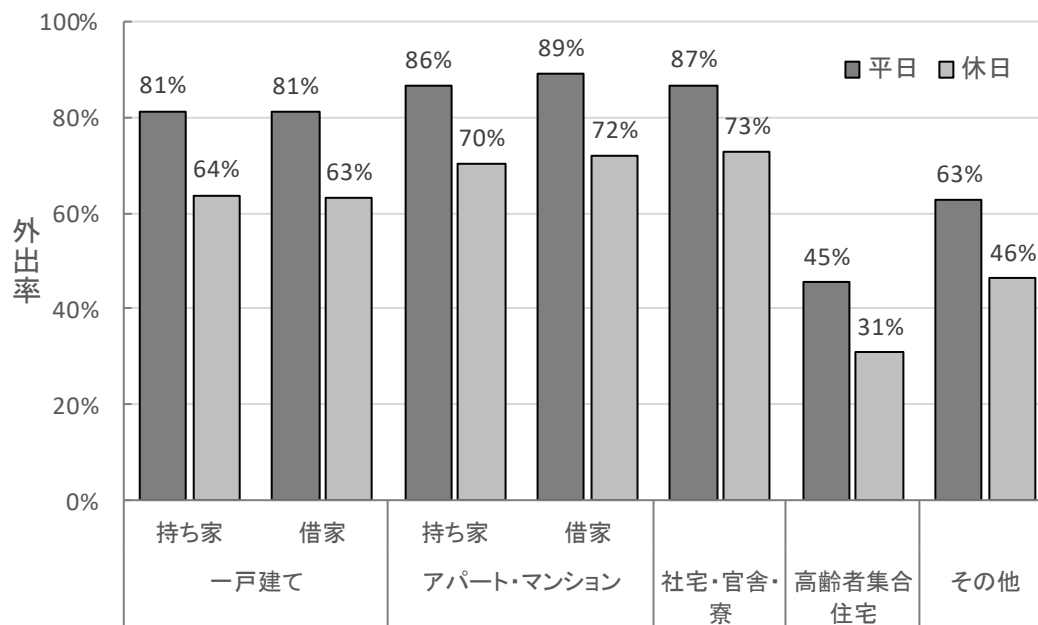


図 2-118 住居形態別外出率

- ・ 住居形態によらず、平日と比較して休日の1人あたりトリップ数は少ない。また、他の住居形態居住者と比較して、高齢者集合住宅居住者の1人あたりトリップ数は少ない。
- ・ 持ち家・借家によらず、一戸建て居住者より、アパート・マンション居住者の1人あたりトリップ数が多い。
- ・ 一戸建て・アパート・マンションともに、持ち家居住者と借家居住者の1人あたりトリップ数は同程度である。

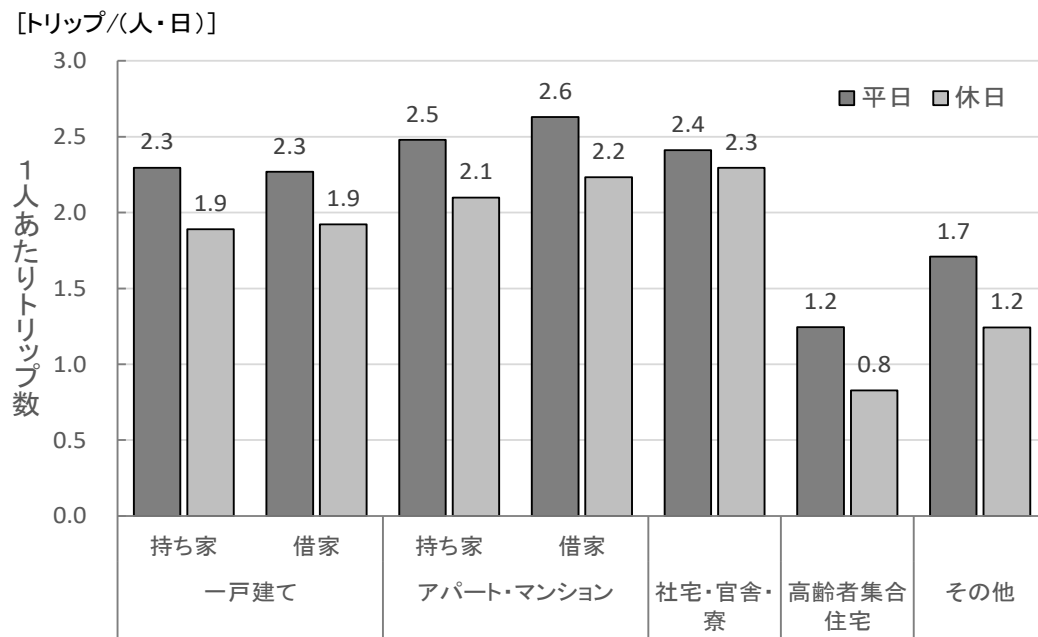


図 2-119 住居形態別 1人あたりトリップ数

## (2) 住居形態別目的種類構成

- ・ 平日の住居形態別目的種類構成では、他の住居形態居住者と比較して、高齢者集合住宅居住者の買物・私事目的のトリップの割合が高い。
- ・ 持ち家・借家ともに、一戸建て居住者よりアパート・マンション居住者の方が、目的種類構成に占める通勤目的の割合が高い。
- ・ 一戸建て・アパート・マンションともに、借家居住者よりも持ち家居住者の方が、目的種類構成に占める私事目的の割合が高い。
- ・ アパート・マンション（借家）居住者と社宅・官舎・寮居住者は、目的構成に類似性がみられる。

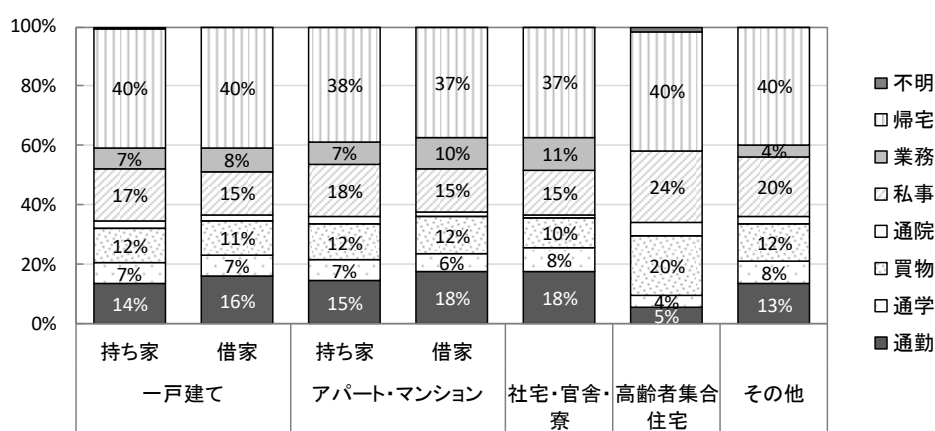


図 2-120 住居形態別目的種類構成（平日）

- ・ 休日は、平日と比較して、住居形態によらず目的種類構成に占める買物・私事目的のトリップの割合が高く、住居形態間で目的種類構成に差がみられない。

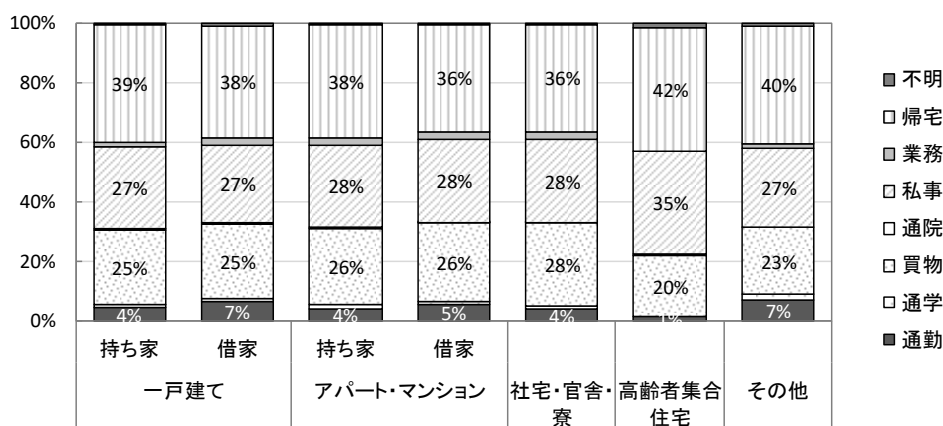


図 2-121 住居形態別目的種類構成（休日）

### (3) 住居形態別代表交通手段分担率

- 平日の住居形態別代表交通手段では、一戸建て居住者の自動車分担率が高い。

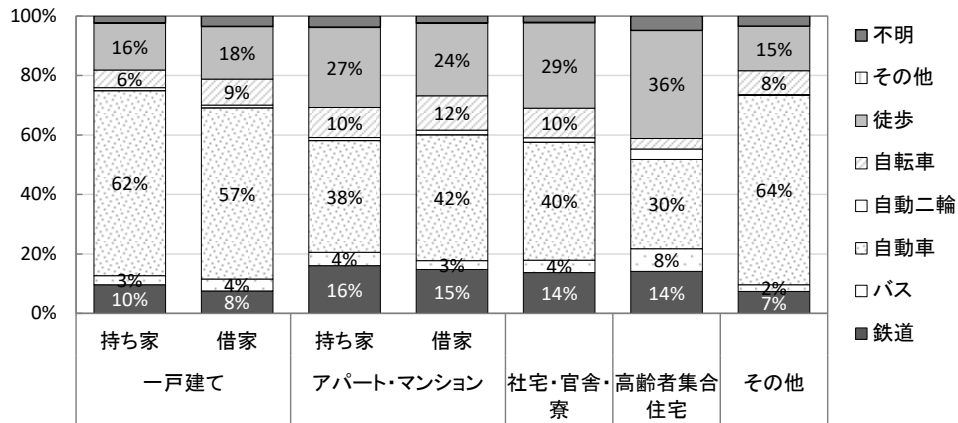


図 2-122 住居形態別代表交通手段分担率（平日）

- 休日は、平日と比較して、住居形態によらず、自動車分担率が高い。

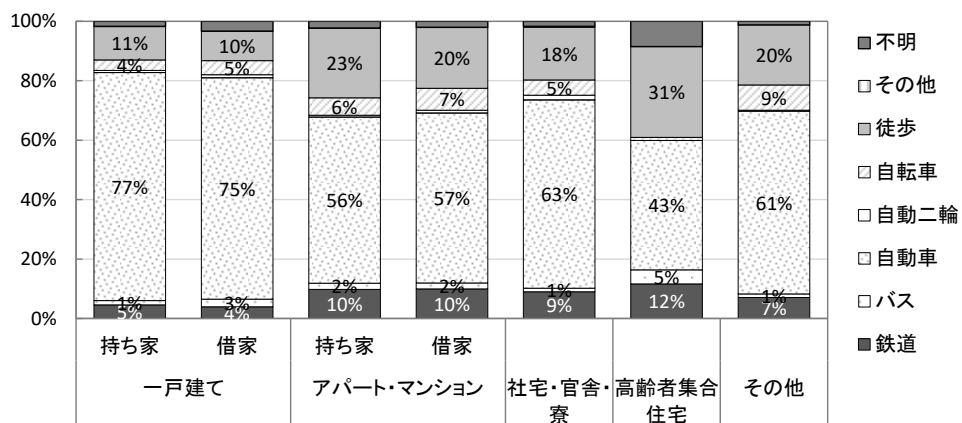


図 2-123 住居形態別代表交通手段分担率（休日）

## 2.6.2 着施設からみた交通特性

### (1) 着施設別目的種類構成

- ・ 平日における着施設構成では、通勤・業務目的で、事務所・事業所に到着するトリップの割合が高い。
- ・ 休日における着施設構成では、平日と比較して通勤・通院・業務目的で、商業施設の割合が高い。

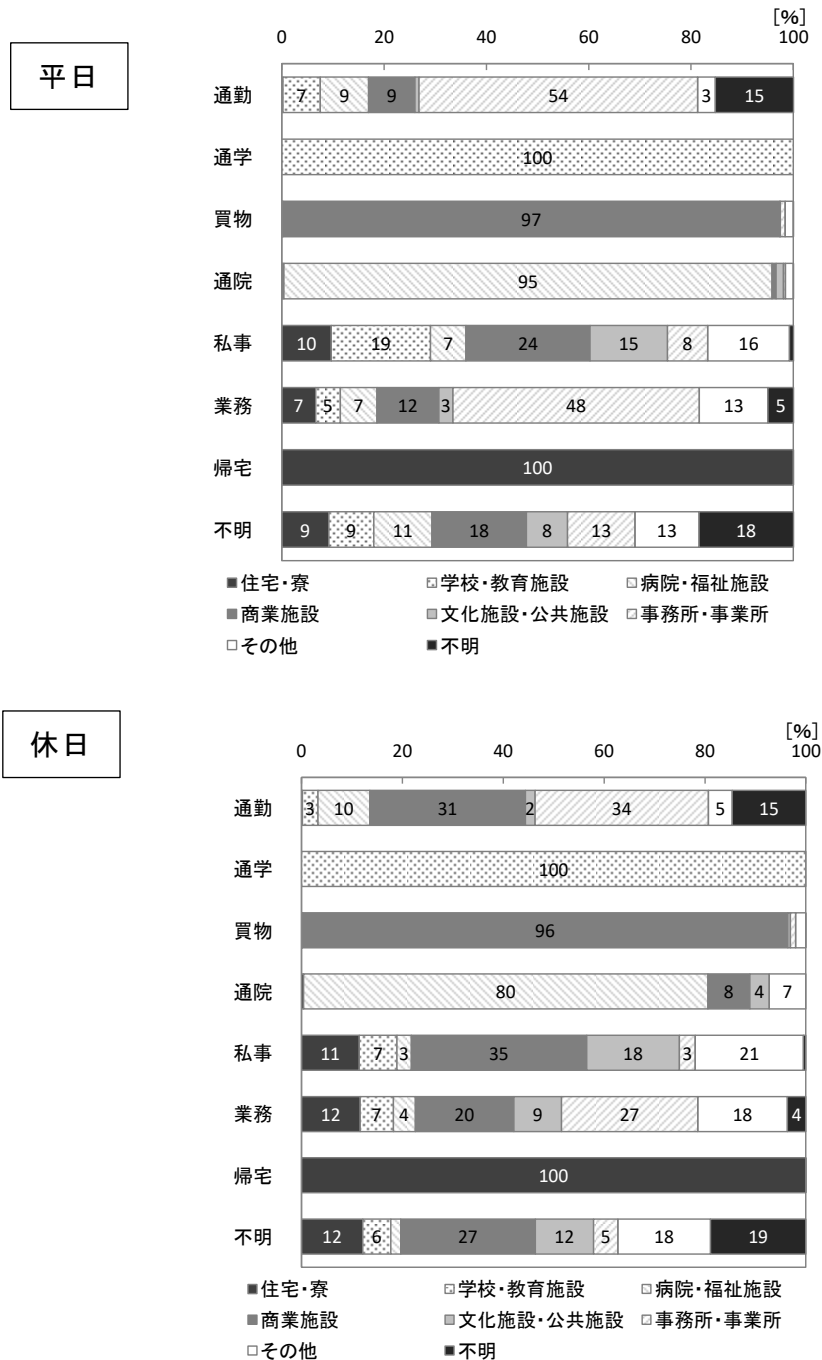


図 2-124 着施設別目的種類構成

## (2) 距離帯別代表交通手段分担率

- ・ 距離帯別代表交通手段では、平日休日ともに、移動距離が長くなるにつれ、自転車・徒歩の分担率は低下し、鉄道・バスの分担率は上昇する傾向がある。
- ・ 距離帯によらず、平日より休日の方が自動車の分担率が高い。0.5km以下の距離帯であっても、自動車の分担率が平日で2割、休日で3割を占めている。

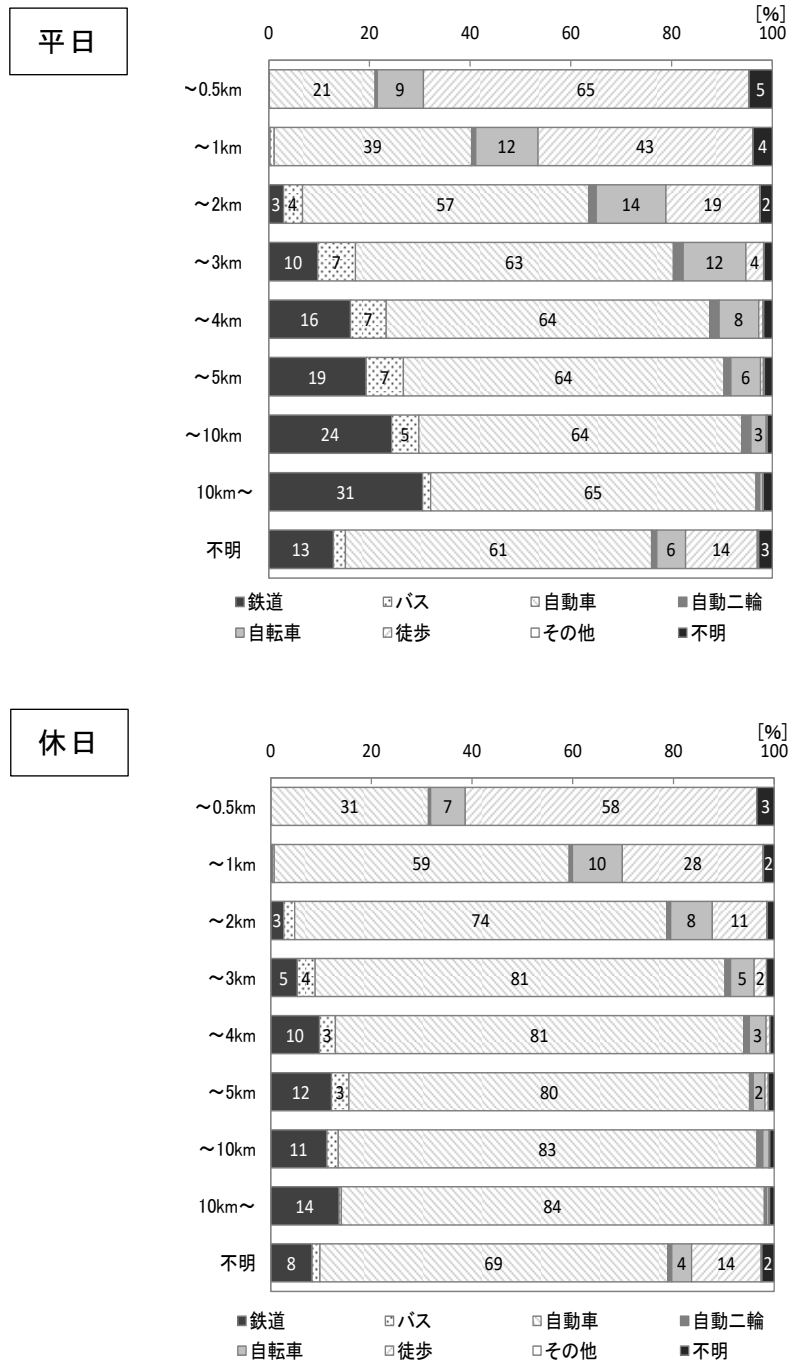


図 2-125 距離帯別代表交通手段分担率

## 2.7 補完調査

### 2.7.1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

中山間地域における日頃の移動の実態を把握するために、通勤、通学、買物、通院などの行先や利用手段、及びバスやタクシーの利用状況などについて、調査を実施した。

#### (2) 実態調査の概要

##### 1) 調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した世帯を調査員が訪問し、世帯内の5歳以上の方を対象として調査票への記入を依頼し、後日、調査員が再訪問し調査票を回収した。

##### 2) 調査期間

平成29年10、11月（※一部地域で12月まで実施）に、第5回仙台都市圏パーソントリップ調査の実施時期に合わせ実施した。

##### 3) 調査票配布数

約1,700世帯に調査票を配布した。（次ページに調査票を掲載）

※調査票は、世帯票を世帯に1枚、個人票を5歳以上の世帯構成員の全員に配布

##### 4) 調査票有効回収数

約1,300世帯から、調査票を回収した。（標本率は約37.6%）

##### 5) 調査対象地域

調査に当たり、市街地から離れた居住地区が広がり、人口減少や少子高齢化が進展している西部地区の一部地域を調査対象地域とした。

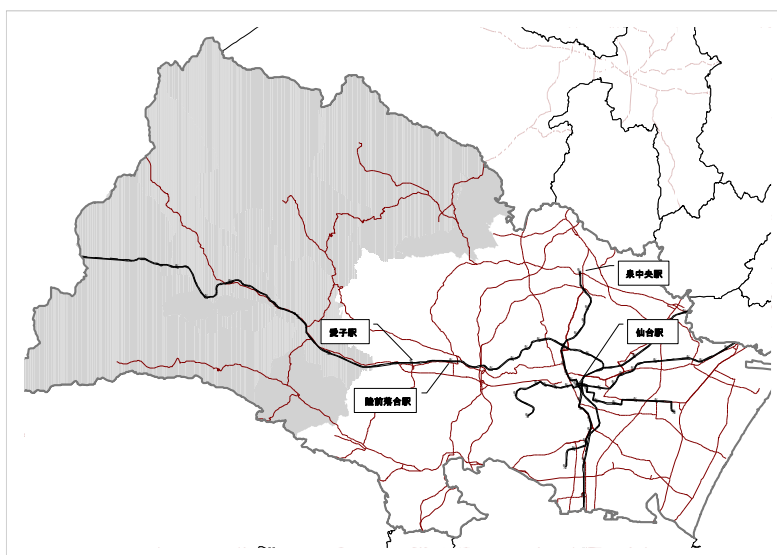


図 2-126 補完調査の対象地域

##### 6) 調査主体

仙台市

仙台市 世帯票 (実施主体) 記入についてのお願ひ

①記入はなるべく車の運転免許をお持ちになります。  
 ②回答は、等の部分 (回答欄) に、数字や文字を記入してください。  
 ③回答欄に番号がついている場合は、当てはまる番号を○で囲んでください。

世帯の代表者 (世帯主) の方が回答してください。

問1 あなたの世帯の現住所をお答えください。

市区町村	市	区	町・丁目/字	番地・号
	市	区		番地
	町			号
	村			

問2 あなたの世帯の世帯の世帯 (5歳未満の方を含む) についてお答えください。

※同じ住所にお住まいの方全員が対象です。  
 ※裏面及び個人票では、この「世帯の世帯番号」が世帯の方それぞれの番号になります。

個人の整理番号	性別 年齢	世帯主との関係	自動車の運転免許	外出する際に、家族等の付き添いを必要としますか	公共交通のICカード (IcocaやSuicaなど) を日常的に使用しますか
1 1目	1. 男 2. 女 満 才	1. 本人 2. 配偶者 3. 子供 4. 子供配偶者 5. 孫 6. 親 7. 兄弟姉妹 8. 親族 9. その他	18歳以上の方のみお答えください 1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが返納した	5歳以上の方のみお答えください 1. 常に必要 2. 状況に応じて必要 3. 不要	1. Icsca 2. Suica 3. 敬老乗車証 4. ふれあい乗車証 5. その他 ( ) 6. 使っていない
2 2目	1. 男 2. 女 満 才	1. 本人 2. 配偶者 3. 子供 4. 子供配偶者 5. 孫 6. 親 7. 兄弟姉妹 8. 親族 9. その他	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが返納した	1. 常に必要 2. 状況に応じて必要 3. 不要	1. Icsca 2. Suica 3. 敬老乗車証 4. ふれあい乗車証 5. その他 ( ) 6. 使っていない
3 3目	1. 男 2. 女 満 才	1. 本人 2. 配偶者 3. 子供 4. 子供配偶者 5. 孫 6. 親 7. 兄弟姉妹 8. 親族 9. その他	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが返納した	1. 常に必要 2. 状況に応じて必要 3. 不要	1. Icsca 2. Suica 3. 敬老乗車証 4. ふれあい乗車証 5. その他 ( ) 6. 使っていない
4 4目	1. 男 2. 女 満 才	1. 本人 2. 配偶者 3. 子供 4. 子供配偶者 5. 孫 6. 親 7. 兄弟姉妹 8. 親族 9. その他	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが返納した	1. 常に必要 2. 状況に応じて必要 3. 不要	1. Icsca 2. Suica 3. 敬老乗車証 4. ふれあい乗車証 5. その他 ( ) 6. 使っていない
5 5目	1. 男 2. 女 満 才	1. 本人 2. 配偶者 3. 子供 4. 子供配偶者 5. 孫 6. 親 7. 兄弟姉妹 8. 親族 9. その他	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが返納した	1. 常に必要 2. 状況に応じて必要 3. 不要	1. Icsca 2. Suica 3. 敬老乗車証 4. ふれあい乗車証 5. その他 ( ) 6. 使っていない
6 6目	1. 男 2. 女 満 才	1. 本人 2. 配偶者 3. 子供 4. 子供配偶者 5. 孫 6. 親 7. 兄弟姉妹 8. 親族 9. その他	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが返納した	1. 常に必要 2. 状況に応じて必要 3. 不要	1. Icsca 2. Suica 3. 敬老乗車証 4. ふれあい乗車証 5. その他 ( ) 6. 使っていない
7 7目	1. 男 2. 女 満 才	1. 本人 2. 配偶者 3. 子供 4. 子供配偶者 5. 孫 6. 親 7. 兄弟姉妹 8. 親族 9. その他	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが返納した	1. 常に必要 2. 状況に応じて必要 3. 不要	1. Icsca 2. Suica 3. 敬老乗車証 4. ふれあい乗車証 5. その他 ( ) 6. 使っていない

問3 現在の住まいについてお答えください。

あなたの現在の住居の形態は

お住まいは建物の何階ですか

1. 1～5階  
2. 6～10階  
3. 11階以上

1. 一戸建て (持ち家)  
2. 一戸建て (借家)  
3. マンション (持ち家)  
4. アパート・マンション (賃貸)  
5. 社宅・官舎・寮  
6. 高齢者集合住宅  
7. その他 ( )  
8. 11階以上

いつから現在の住居にお住まいですか 同じ住所で建て替えている場合は、建て替え前からの年月をお答えください

1. 昭和・平成・西暦 年 月 から 2. (世帯主の方が) 生まれた時から住んでいる

問4 現在の住居に転居される前のお住まいについてお答えください。

※現在のお住まいに転居された方のみお答えください。

以前のお住まいの住所は

1. 国内のとき 2. 外国

以前のお住まいは、(世帯主の方) の実家ですか

1. 実家  
2. 実家ではない

以前のお住まいの住所は

1. 一戸建て (持ち家)  
2. 一戸建て (借家)  
3. マンション (持ち家)  
4. アパート・マンション (賃貸)  
5. 社宅・官舎・寮  
6. 高齢者集合住宅  
7. その他 ( )  
8. 11階以上

いつから現在の住居にお住まいですか 同じ住所で建て替えている場合は、建て替え前からの年月をお答えください

1. 昭和・平成・西暦 年 月 から 2. (世帯主の方が) 生まれた時から住んでいる

問5 (世帯主の方が) 5年前に同居されていた方についてお答えください。

※問2の「個人の整理番号」にあてはまる番号全てを○で囲んでください。

1. 1人目 2. 2人目 3. 3人目 4. 4人目 5. 5人目 6. 6人目 7. 7人目

上記以外で同居されていた方 親 ( ) 人、子 ( ) 人、その他 ( ) 人

問6 あなたの世帯で所有している自動車や自転車などの台数についてお答えください。

①乗用車 ②原動機付自転車 (50ccを超え) ③原動機付自転車 (50cc以下) ④自動車 ⑤軽貨物車 (軽トラックなど) ⑥その他の自動車 (送迎バスなど)

①乗用車 ②原動機付自転車 (50ccを超え) ③原動機付自転車 (50cc以下) ④自動車 ⑤軽貨物車 (軽トラックなど) ⑥その他の自動車 (送迎バスなど)

裏面もお答えください。

図 2-127 調査票 (世帯票オモテ面)







### 表2 路線バス選択理由

ここ1年における路線バスの利用状況についてお聞きします。

<p><b>問3</b> ここ1年、外出時に路線バスを利用した頻度はどの程度ですか。</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に1回程度 3. 週に1回程度 4. 利用しなかった (4. 利用しなかったを運んだ方は、問4へ)</p>	<p><b>a.</b> 主に訪れた場所① (市町村別、町字名) 具体的な施設名(または店名)を2つまでお答え下さい。 ※通学のみがタクシーを利用した場合は、利用者の属性についてお答えください。 ※施設名が分からない場合は住所を最後までお答えください。</p>	<p><b>b.</b> 路線バスを利用して主に訪れた場所はどこですか、場所が分かるように具体的な施設名(または店名)を2つまでお答え下さい。 ※通学のみがタクシーを利用した場合は、利用者の属性についてお答えください。 ※施設名が分からない場合は住所を最後までお答えください。</p>	<p><b>c.</b> その場所への路線バスでの訪問頻度はどの程度ですか。</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に1回程度 3. 週に1回程度</p>	<p><b>d.</b> その場所を訪れる目的は何ですか。 ※当てはまる番号つに○をつけてください。</p> <p>1. 通勤・通学 2. 通院 3. 娯楽 4. 交際・社交・娯楽 5. その他の利用</p>	<p><b>e.</b> 乗車バス停と降車バス停をお答えください。</p> <p>乗車バス停名 降車バス停名</p>	<p><b>f.</b> その場所へ行く時、自宅に帰る時、最も多い時間帯はどのようですか。</p> <p>1. 9時以前 2. 9～12時 3. 12～16時 4. 16～19時 5. 19時以降</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 表3 タクシー選択理由

ここ1年におけるタクシーの利用状況についてお聞きします。

<p><b>問4</b> ここ1年、外出時にタクシーを利用した頻度はどの程度ですか。</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に1回程度 3. 週に1回程度 4. 利用しなかった (4. 利用しなかったを運んだ方は、問5へ)</p>	<p><b>a.</b> 主に訪れた場所① (市町村別、町字名) 具体的な施設名(または店名)を2つまでお答え下さい。 ※通学のみがタクシーを利用した場合は、利用者の属性についてお答えください。 ※施設名が分からない場合は住所を最後までお答えください。</p>	<p><b>b.</b> タクシーを利用して主に訪れた場所はどこですか、場所が分かるように具体的な施設名(または店名)を2つまでお答え下さい。 ※通学のみがタクシーを利用した場合は、利用者の属性についてお答えください。 ※施設名が分からない場合は住所を最後までお答えください。</p>	<p><b>c.</b> その場所へのタクシーでの訪問頻度はどの程度ですか。</p> <p>1. 年に1回程度 2. 月に1回程度 3. 週に1回程度</p>	<p><b>d.</b> その場所を訪れる目的は何ですか。 ※当てはまる番号つに○をつけてください。</p> <p>1. 通勤・通学 2. 通院 3. 娯楽 4. 交際・社交・娯楽 5. その他の利用</p>	<p><b>e.</b> タクシーの利用区間はどの程度ですか。</p> <p>例)乗車:自宅名、降車:県庁広場</p> <p>乗車場所 降車場所</p>	<p><b>f.</b> その場所へ行く時、自宅に帰る時、最も多い時間帯はどのようですか。</p> <p>1. 9時以前 2. 9～12時 3. 12～16時 4. 16～19時 5. 19時以降</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 問5 今後の居住意向についてお聞きします。

**a.** 今後の住まいの地域に、住み続けたいとお考えですか。

**b.** 住み慣れているから  
**c.** 移りたい、移る予定

**d.** 今のお住まいに住み続けたい理由は何かですか。当てはまるものを全てに○をつけてください。

1. 先租から受け継いだ土地だから  
2. 緑や自然が豊かだから  
3. 親や子供、親戚が近くに住んでいるから  
4. 仕事の内容や職場が近いから  
5. その他(具体的に )

### 問6 移動販売車やネットショッピング等の外売せずに、購入する食品・日用品の購入状況についてお聞きします。

**a.** 購入することは、ありますか。

**b.** 購入する頻度はどの程度ですか。

1. 年に1回程度  
2. 月に1回程度  
3. 週に1回程度

**c.** 最も多く利用する食品の1つは何かですか。

1. ネット・カタログ通販  
2. 移動販売車  
3. スーパー・生協等の配達  
4. その他

**d.** 移動販売車やネットショッピングを利用する主な理由は何ですか。

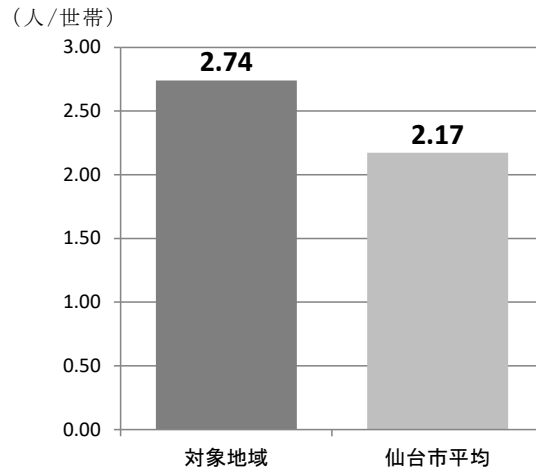
1. 実際に足を運ぶ手間や時間が省ける  
2. 重い、かさばる物を届けてもらえる  
3. 近所にお店がない  
4. 一人で外出することが困難  
5. 移動手段がないから  
6. その他

図 2-130 調査票 (個人票ウラ面)

## 2.7.2 調査結果の概要

### (1) 調査対象地域居住者の特性

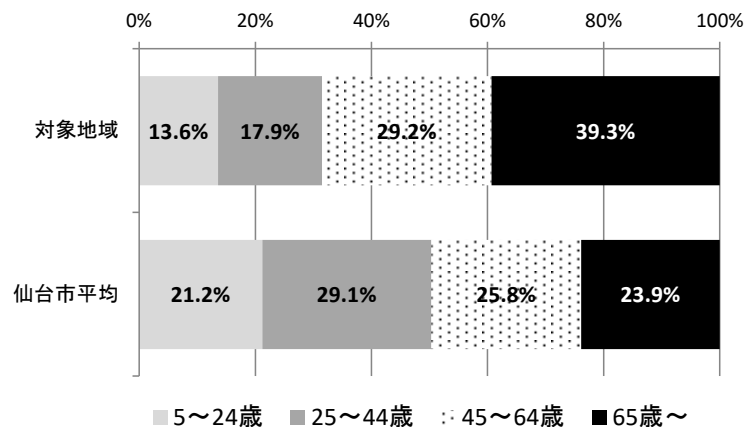
調査対象地域の世帯平均人数（回答を得た世帯の平均）は2.74人/世帯と、仙台市平均を上回る。



注1：仙台市平均は、平成27年国勢調査  
注2：対象地域集計は、サンプル集計

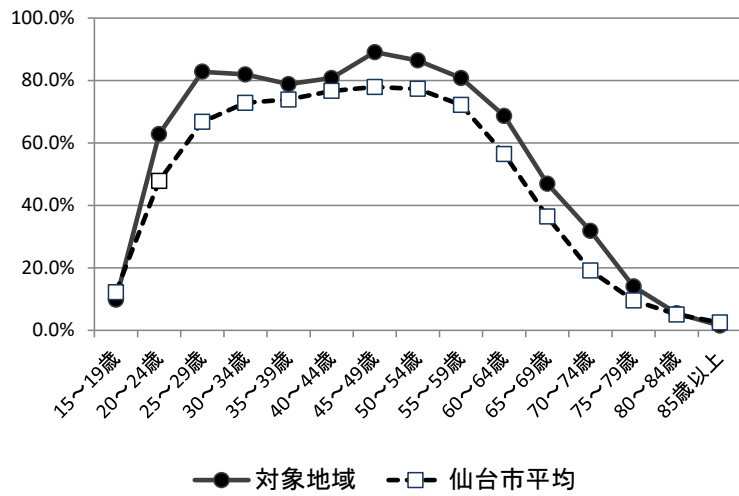
図 2-131 平均世帯人数

年齢構成では、仙台市平均に比べ、高齢者（65歳以上）の割合が高い。年齢階層別の就業率は、いずれの年齢層でも仙台市平均より高い。また、就業者の産業構成では、一次産業（農林業等）、二次産業（製造業等）の割合が、仙台市平均より高い。



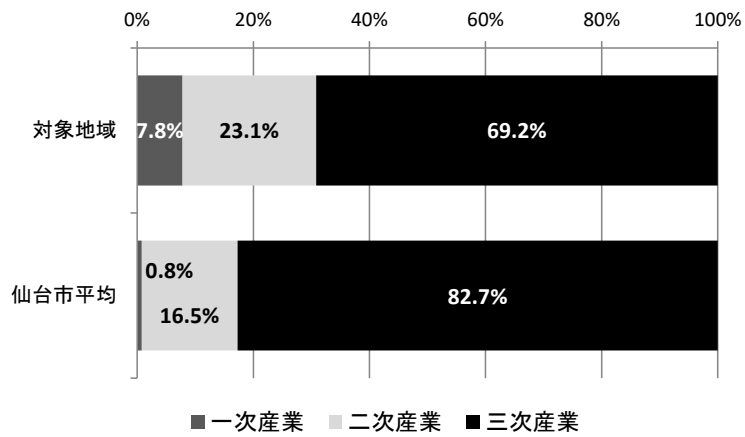
注1：仙台市平均は、平成27年国勢調査  
注2：対象地域集計は、拡大値集計

図 2-132 年齢階層の構成



注 1：仙台市平均は、平成 27 年国勢調査  
 注 2：対象地域集計は、拡大値集計  
 注 3：就業状況・就学状況不明を除く

図 2-133 年齢階層別の就業率



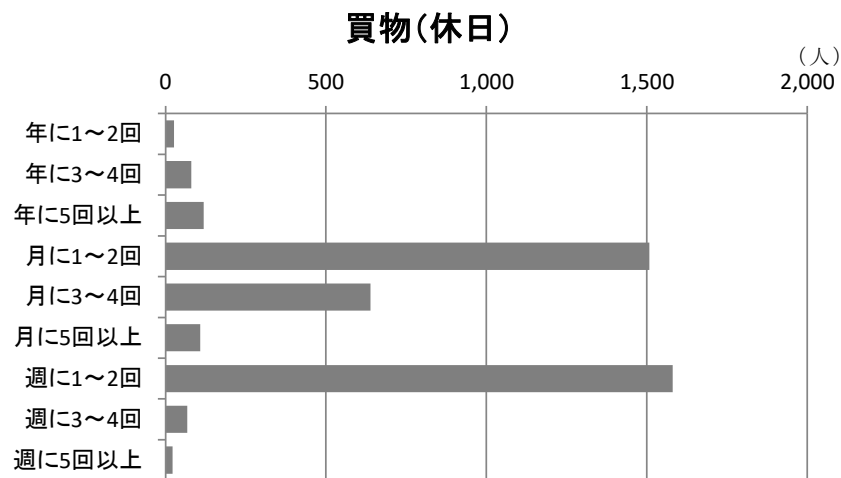
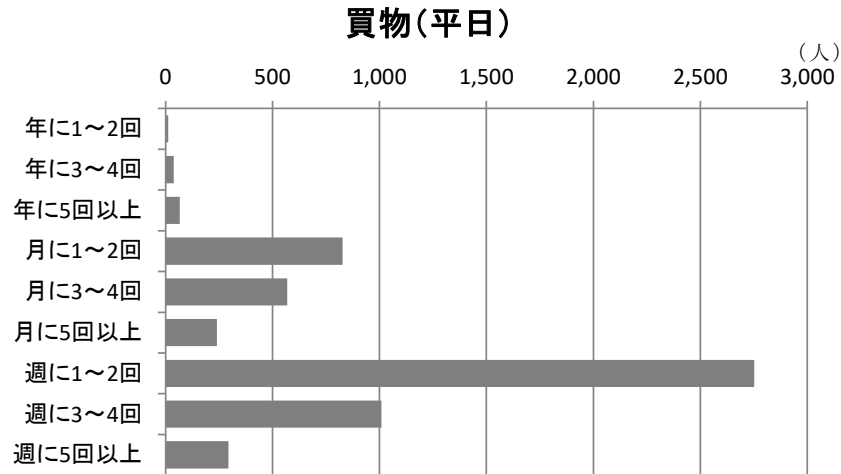
注 1：仙台市平均は、平成 27 年国勢調査  
 注 2：対象地域集計は、拡大値集計  
 注 3：産業不明を除く

図 2-134 就業者の産業構成

## (2) 日頃最もよく行く行先への移動について

### 1) 目的別の出かける頻度

平日の買物は、「週に1~2回」が最も多く、次に「週に3~4回」、「月に1~2回」が多い。一方、休日の買物は「月に1~2回」や、「週に1~2回」が多い。

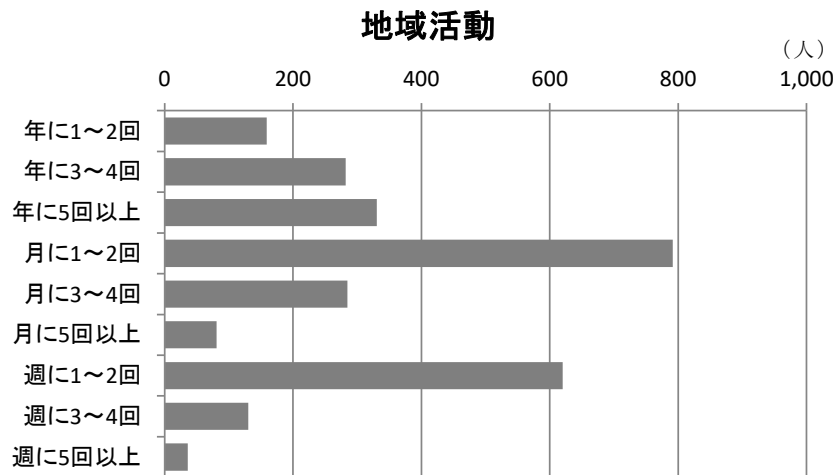
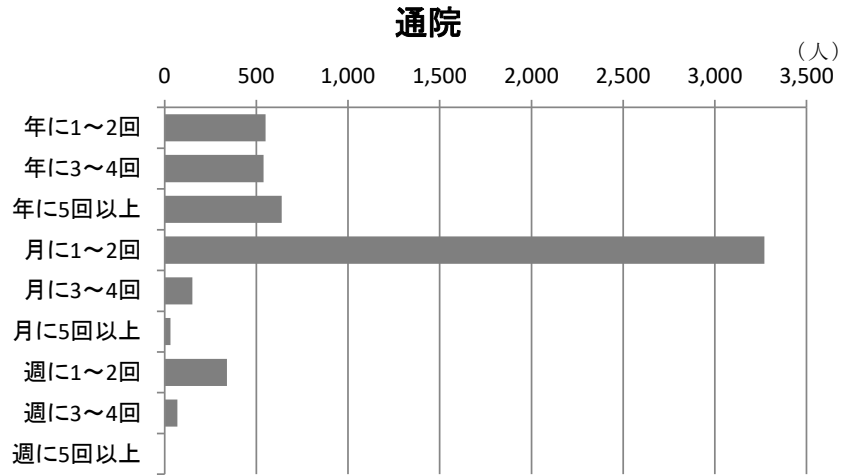


注1: 拡大値集計

注2: 最もよく行く場所への訪問頻度不明は除く

図 2-135 目的別の最もよく行く場所への訪問頻度 (1/2)

通院目的では、「月に1～2回」が最も多い。地域活動（町内会活動や地域行事等）では、「月に1～2回」が最も多く、次に「週に1～2回」が多い。



注1：拡大値集計

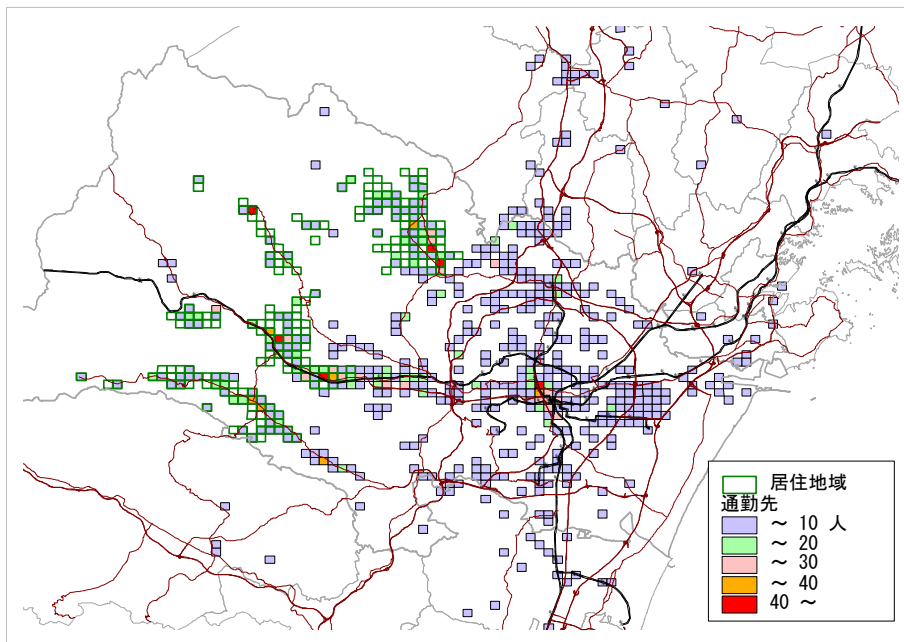
注2：最もよく行く場所への訪問頻度不明は除く

図 2-136 目的別の最もよく行く場所への訪問頻度 (2/2)

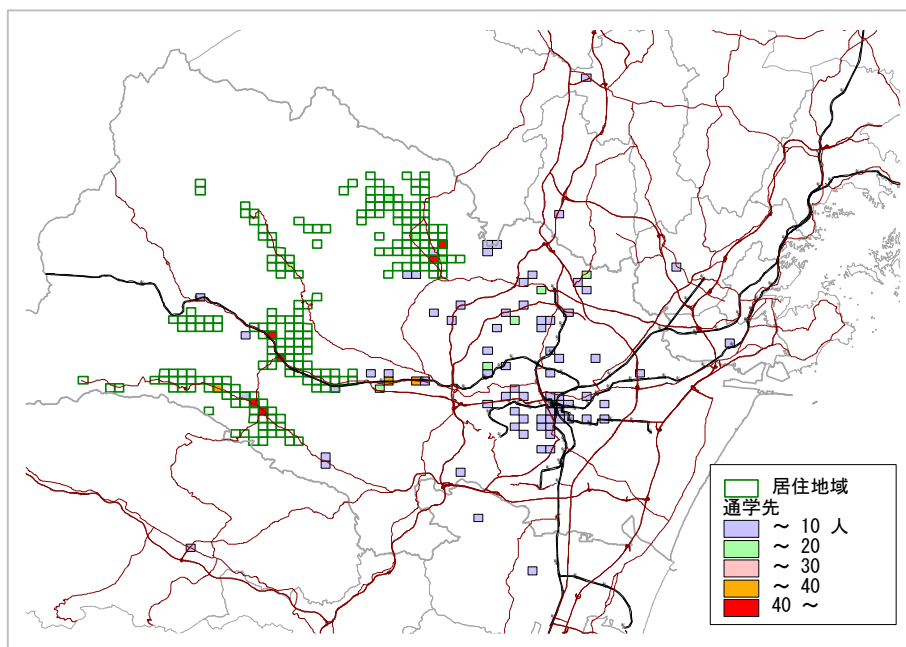
## 2) 目的別の行き先

西部地区居住者の通勤先は、仙台市内に広範に広がり、周辺の市町にも及んでいる。通学先は、小・中学生と想定される居住地域付近が多いが、仙台都心や都心周辺の地域にもみられる。

### 【通勤先】



### 【通学先】



注1：拡大値集計

注2：最も良く行く行先を500mメッシュで表示

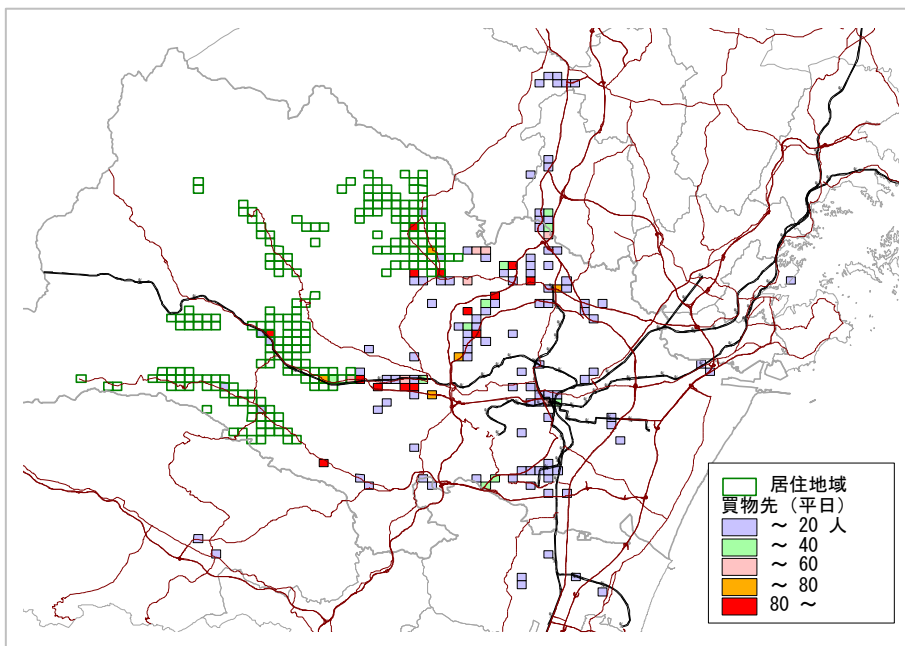
注3：最もよく行く場所が不明は除く

図 2-137 目的別の最もよく行く先 (1/3)

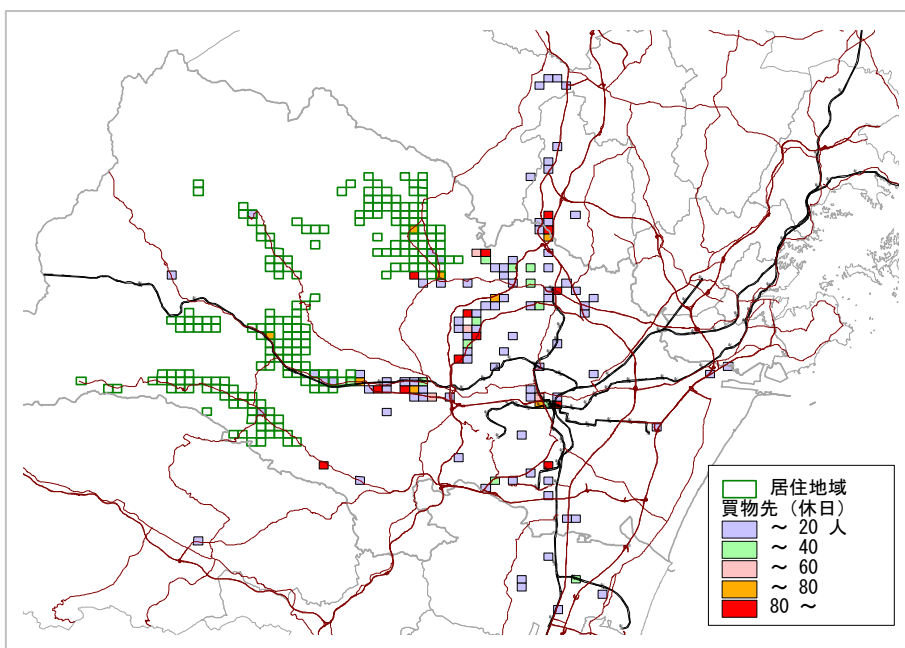


平日の買物先は、居住地域付近の J R 駅周辺や幹線道路沿線にみられる。休日の買物先においても平日と同様の傾向がみられる。

【買物先（平日）】



【買物先（休日）】



注 1 : 拡大値集計

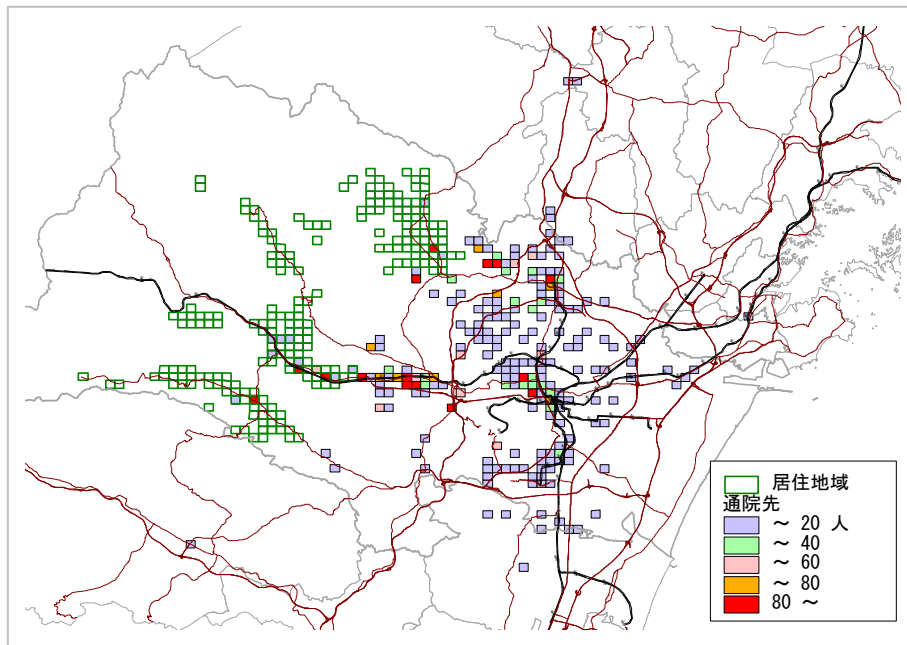
注 2 : 最も良く行く行先を 500m メッシュで表示

注 3 : 最もよく行く場所が不明は除く

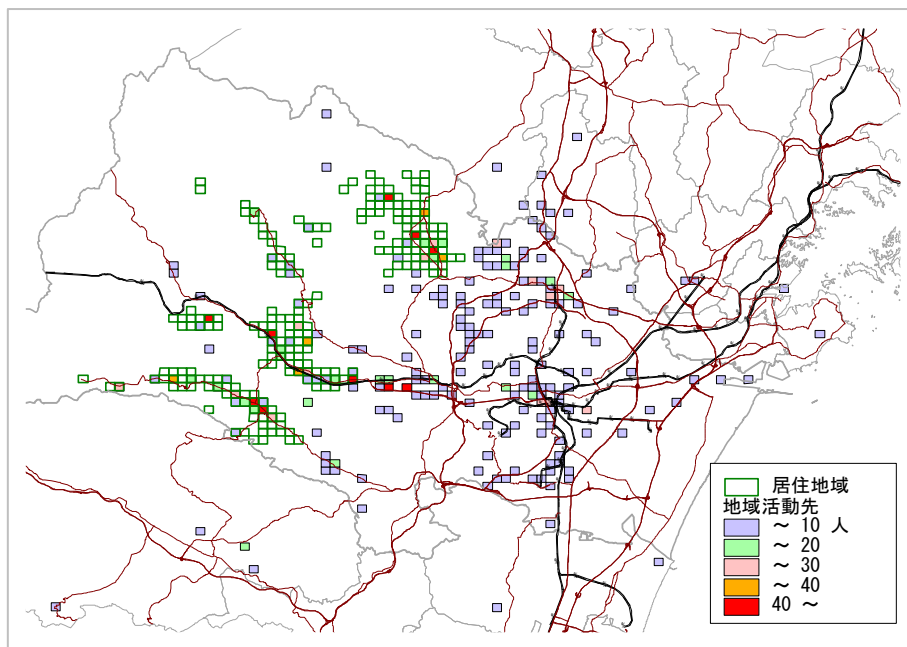
図 2-138 目的別の最もよく行く先 (2/3)

通院先は、居住地域内のほかに、仙台北西市街地、仙台都心、泉中央を含む北西部及び長町などの拠点地域や幹線道路沿線にみられる。地域活動先は、居住地域付近に集中する傾向がある一方、市内外に広範に広がる。

【通院先】



【地域活動先】



注1：拡大値集計

注2：最も良く行く行先を500mメッシュで表示

注3：最もよく行く場所が不明は除く

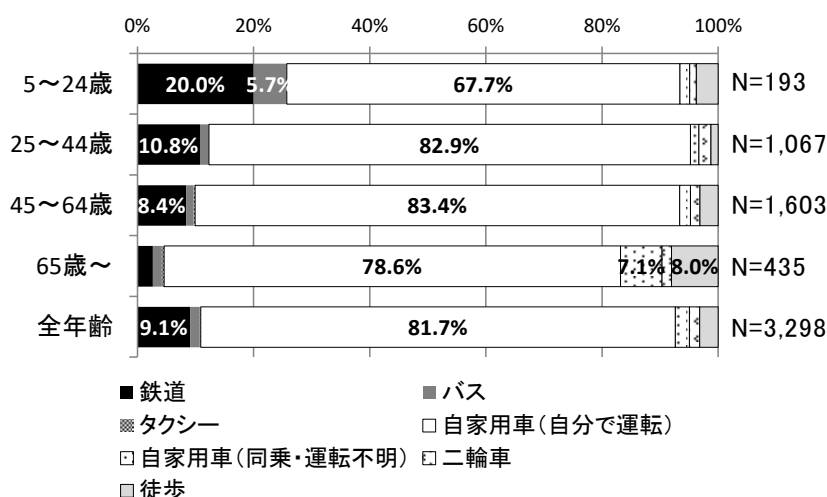
図 2-139 目的別の最もよく行く先 (3/3)

### 3) 目的別年齢階層別の利用手段

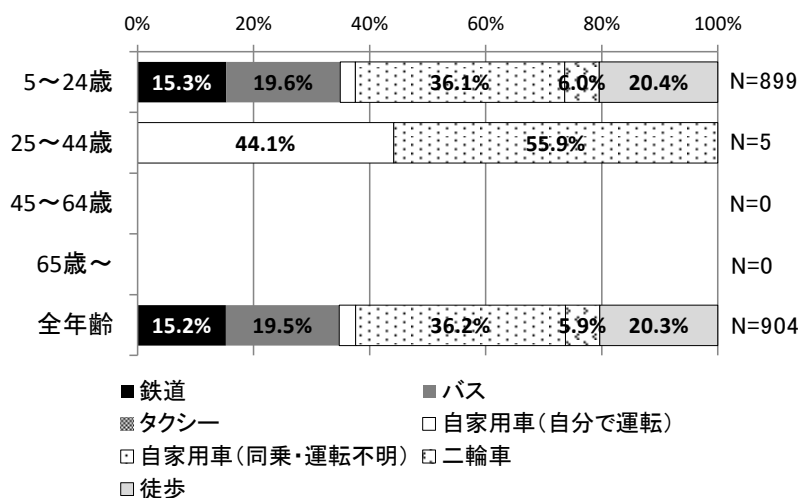
通勤目的の移動では、年齢が上がるにつれて鉄道やバスの公共交通分担率が減り、自家用車分担率が増えている。全年齢では、自家用車（自分で運転）分担率は80%を超える。通学目的の移動では、24歳以下は公共交通や徒歩の利用もみられるが、25歳以上はほとんどが自家用車を利用している。

※ここでは、代表交通手段で集計しています。代表交通手段とは、1 トリップの中で使用した交通手段において、予め設定した優先度が最も高い交通手段のことで、優先度は、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩の順となります。例えば、自宅から勤務先まで、徒歩→バス→鉄道→徒歩で移動した場合には、代表交通手段は鉄道となります。

#### 【通勤目的】



#### 【通学目的】



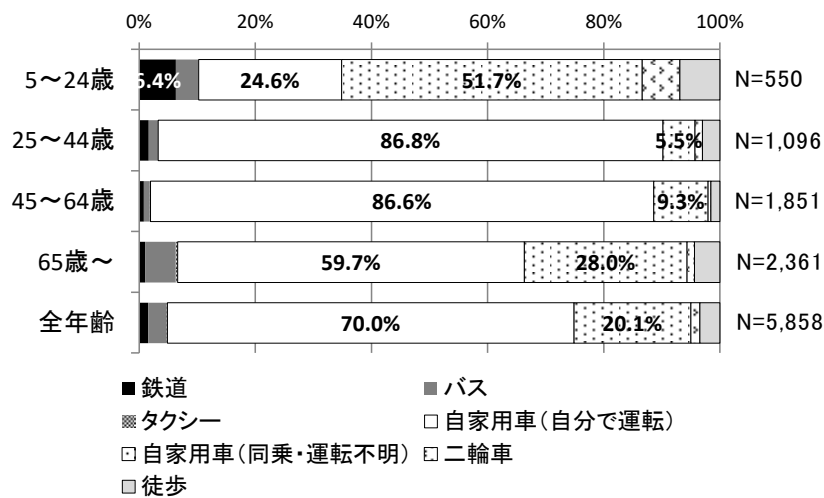
注1：拡大値集計

注2：手段不明を除く

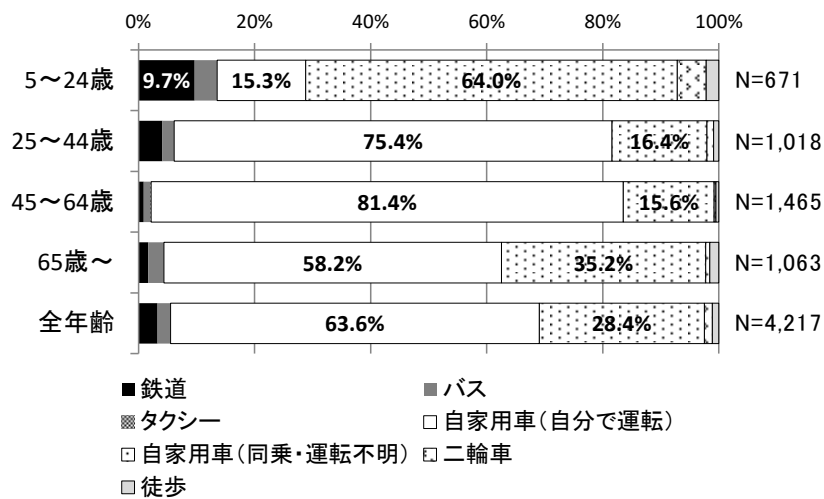
図 2-140 目的別の年齢階層別代表手段分担率 (1/3)

買物目的の移動では平日、休日ともに自家用車の利用が80%から90%に及ぶが、24歳以下は「同乗」の利用が多く、25歳以上では「自分で運転する」割合が「同乗」を上回る。

【買物目的（平日）】



【買物目的（休日）】

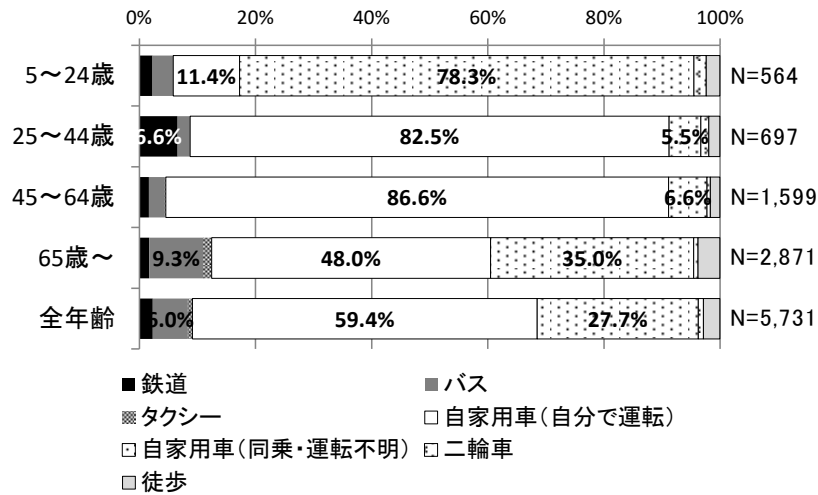


注1：拡大値集計  
注2：手段不明を除く

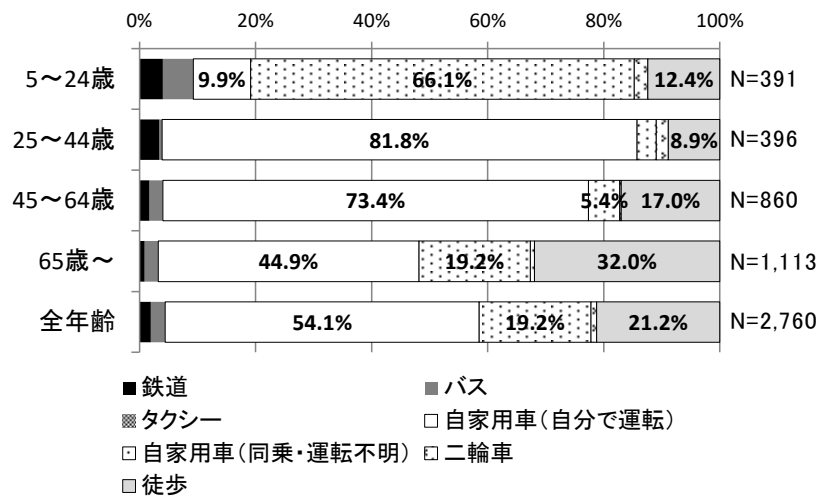
図 2-141 目的別の年齢階層別代表手段分担率 (2/3)

通院目的の移動では自家用車利用は80%を超えるが、24歳以下や65歳以上では自家用車利用でも「同乗」が多い。地域活動目的の移動では、年齢が上がるにつれて「徒歩」の利用が増加している。

【通院目的】



【地域活動目的】



注1：拡大値集計

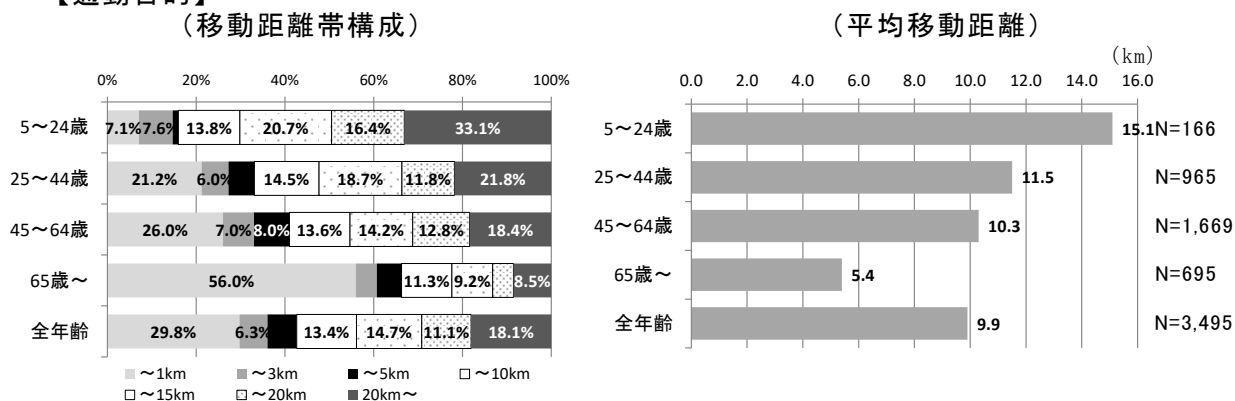
注2：手段不明を除く

図 2-142 目的別の年齢階層別代表手段分担率 (3/3)

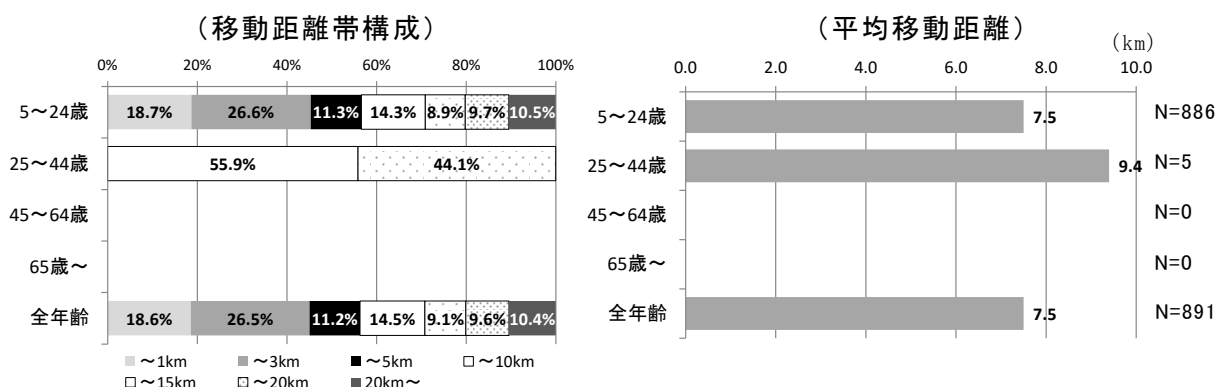
#### 4) 目的別年齢階層別の移動距離

通勤目的の移動では、年齢が低いほど移動距離が長く、年齢が上がるにつれ移動距離が短くなる。特に65歳以上では、1km未満が半数を超えるため、平均移動距離も他の年齢層と比べ短くなっている。通学目的の移動では、24歳以下では移動距離が短い距離から長い距離までみられる。平日の買物目的の移動では、年齢による変化は小さく、平均移動距離は8km台である。

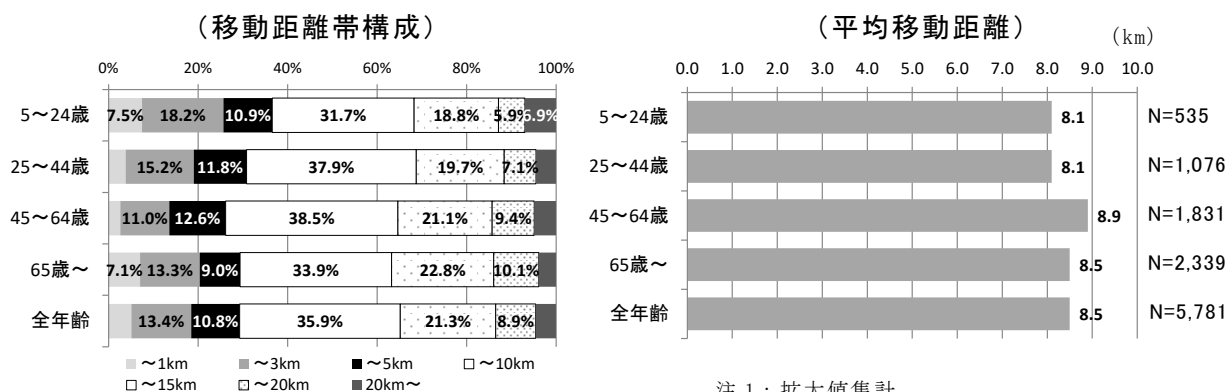
##### 【通勤目的】



##### 【通学目的】



##### 【買物目的 (平日)】



注1：拡大値集計

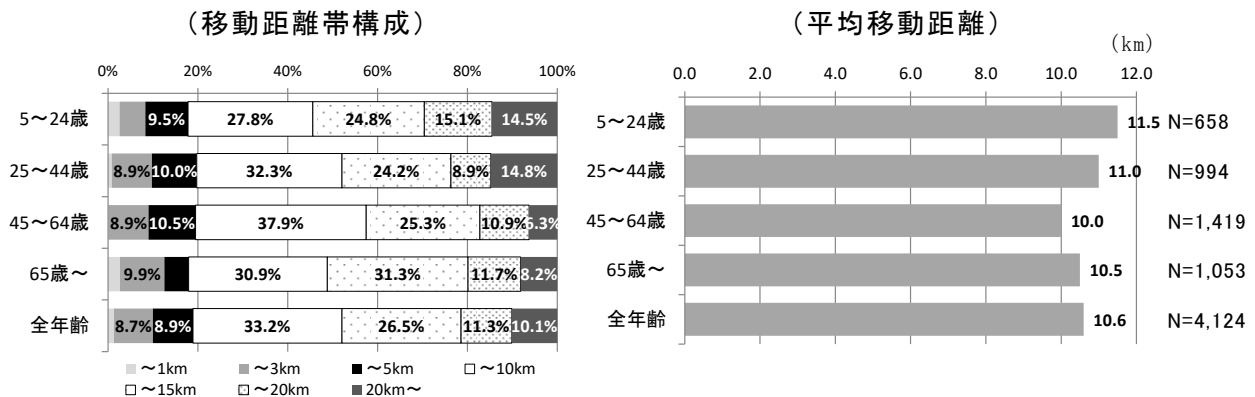
注2：移動距離不明を除く

注3：移動距離は、自宅と行先の直線距離

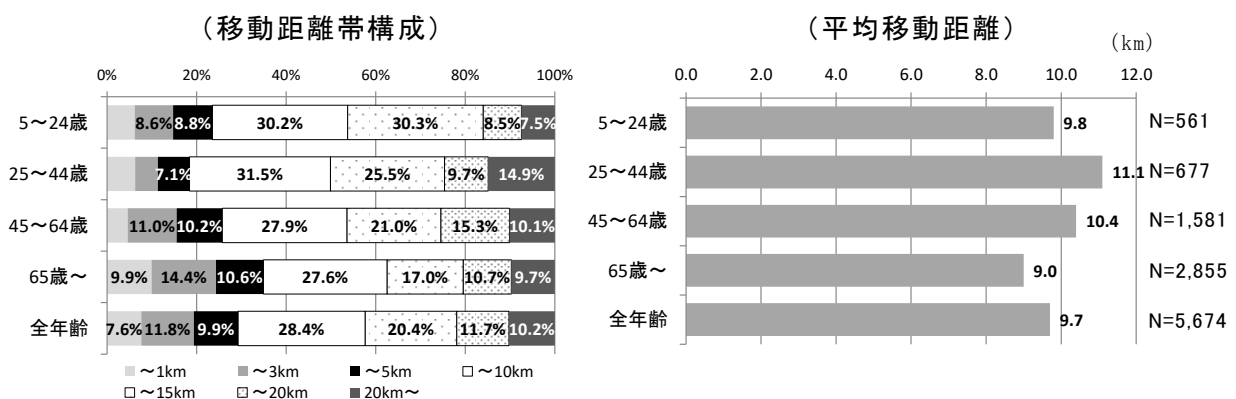
図 2-143 目的別の年齢階層別移動距離帯構成・平均移動距離 (1/2)

休日の買物目的の移動は、年齢にかかわらず平日に比べて移動距離が長くなり、平均移動距離は10~12kmとなる。24歳以下の若年層の移動距離が他の年齢階層より長い。65歳以上の高齢者においても、通院にかかる移動距離は平均で9kmとなっている。地域活動の移動距離は年齢による差が大きく、65歳以上の高齢層が最も短い。

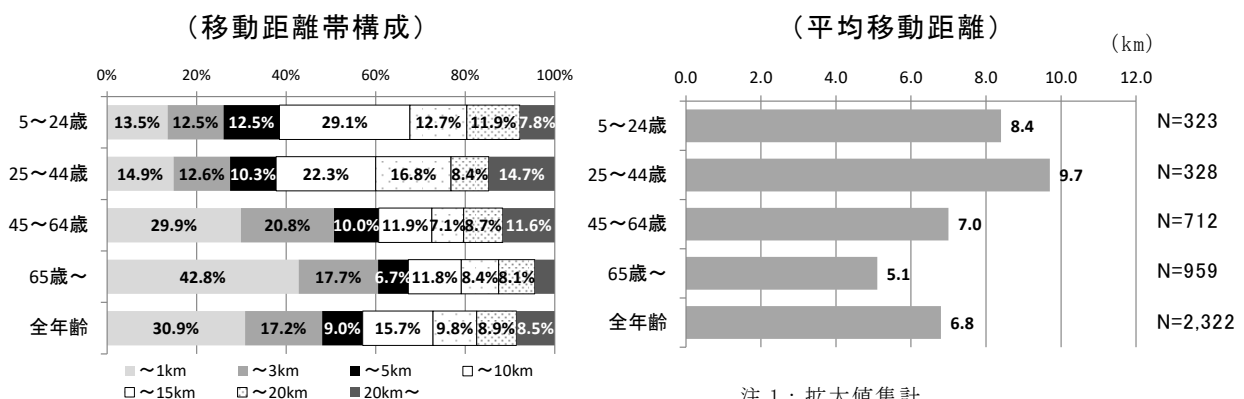
【買物目的（休日）】



【通院目的】



【地域活動目的】



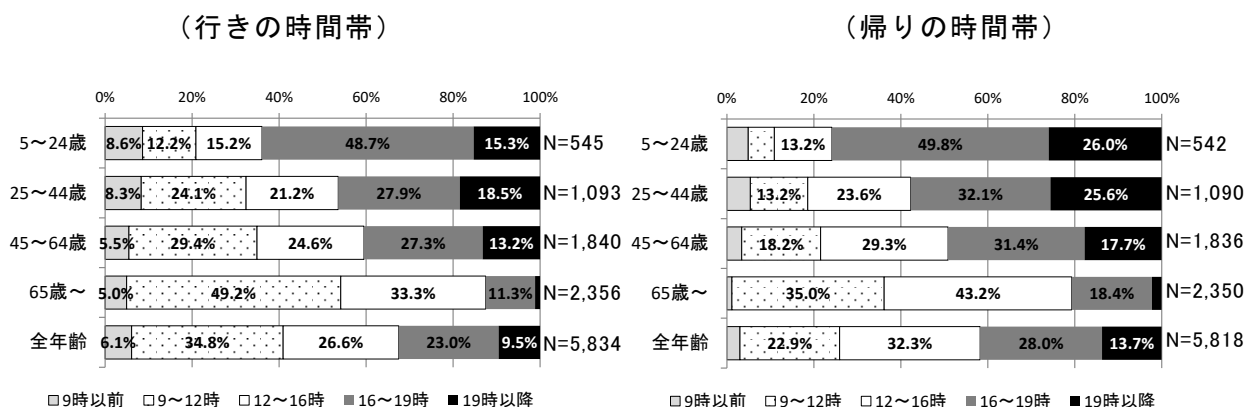
注1：拡大値集計  
 注2：移動距離不明を除く  
 注3：移動距離は、自宅と行先の直線距離

図 2-144 目的別の年齢階層別移動距離帯構成・平均移動距離 (2/2)

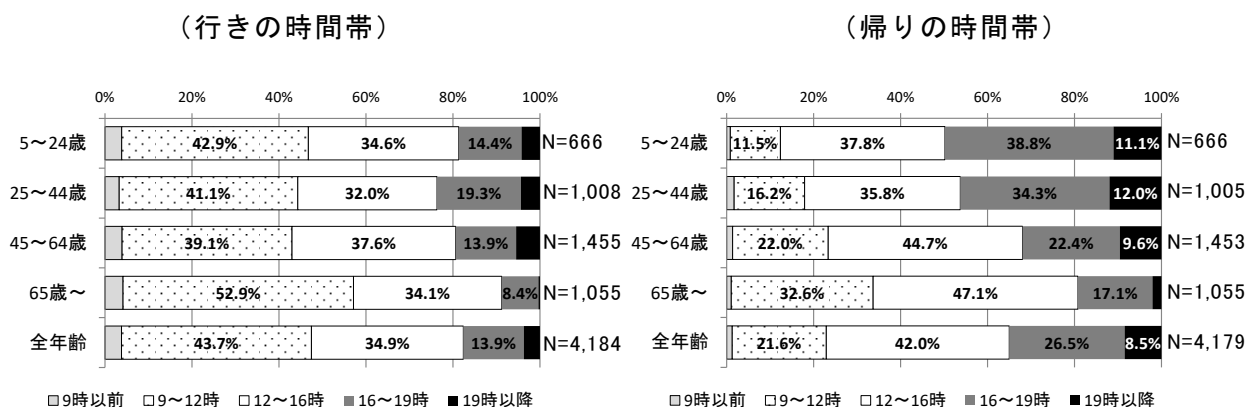
### 5) 私事目的の活動時間

平日における買物の活動時間は、年齢によって差がみられる。5歳～24歳の若年層の約半数が16時以降に買物目的の活動を行っており、65歳以上の高齢層は午前中の活動が多い。休日の買物の活動時間は、平日に比べ午前中に自宅を出発する傾向となり、19時以降の帰宅は少ない。

#### 【買物目的（平日）】



#### 【買物目的（休日）】



注1：拡大値集計

注2：時間帯不明を除く

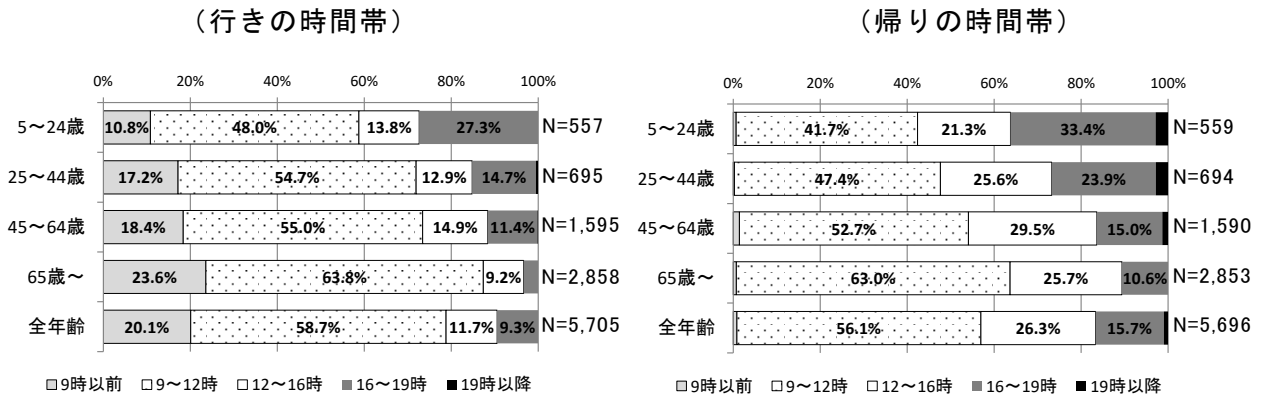
注3：行きとは自宅を出る時刻、帰りは自宅に戻る時刻

図 2-145 目的別の年齢階層別活動時間帯 (1/2)

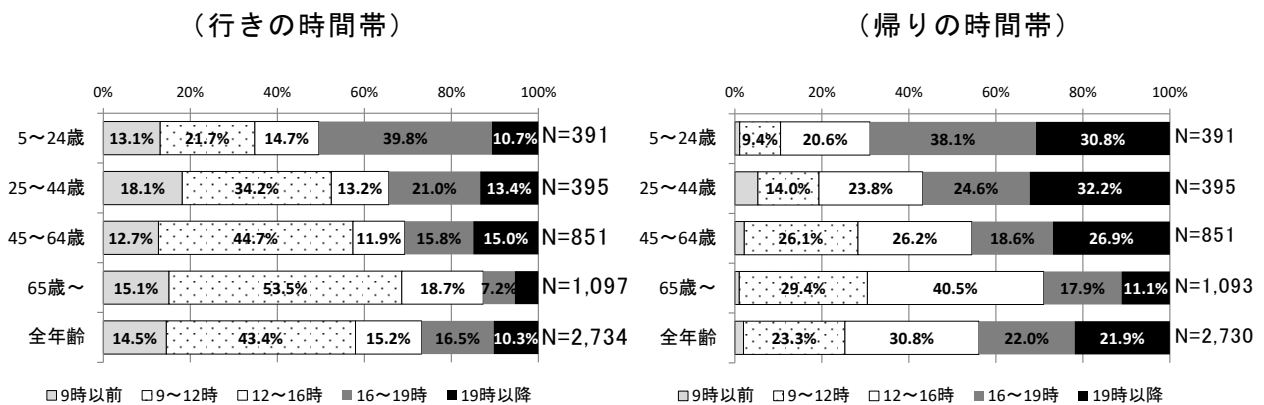


通院目的の活動時間は午前中に集中しており、特に高齢層で顕著である。地域活動の移動は各時間帯で見られる。

【通院目的】



【地域活動目的】



注1：拡大値集計  
 注2：時間帯不明を除く  
 注3：行きとは自宅を出る時刻、帰りは自宅に戻る時刻

図 2-146 目的別の年齢階層別活動時間帯 (2/2)

### (3) この1年間での路線バスの利用状況

#### 1) 路線バスの利用状況

この1年間で路線バスを利用したことがある方は、全年齢では約22%である。5～24歳の若年層と65歳以上の高齢層は比較的にバスを利用する傾向がみられる。利用した方の利用頻度をみると、24歳以下の若年層では「週に4回以上」利用する割合が約58%であり、利用頻度が比較的高い。

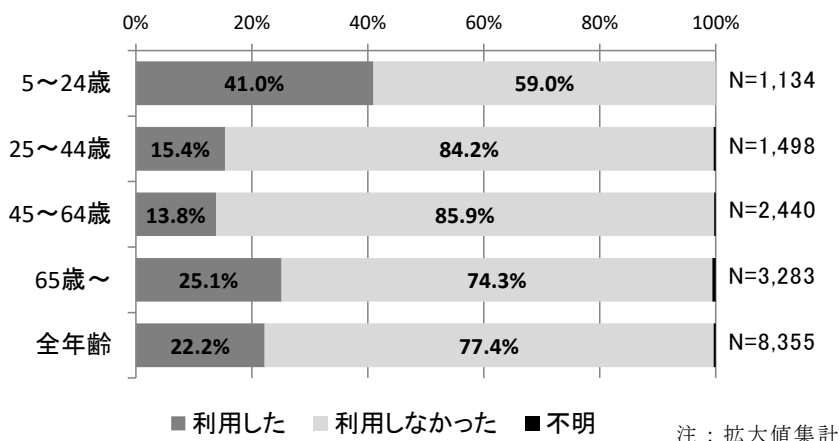


図 2-147 年齢階層別のこの1年間での路線バスの利用有無

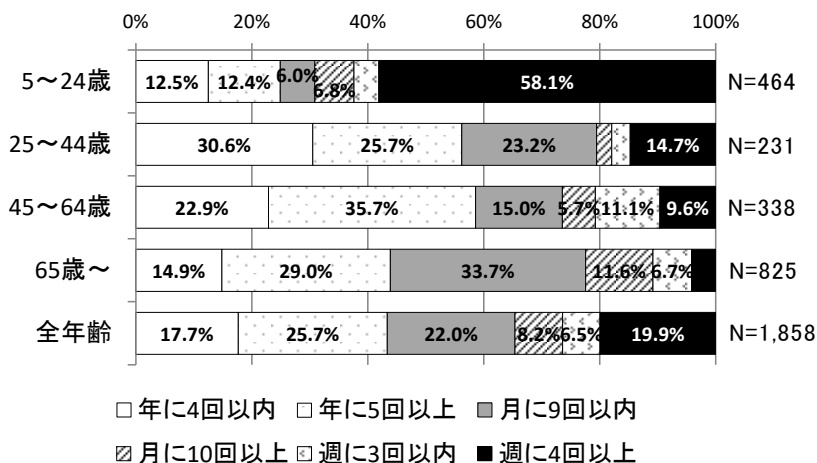
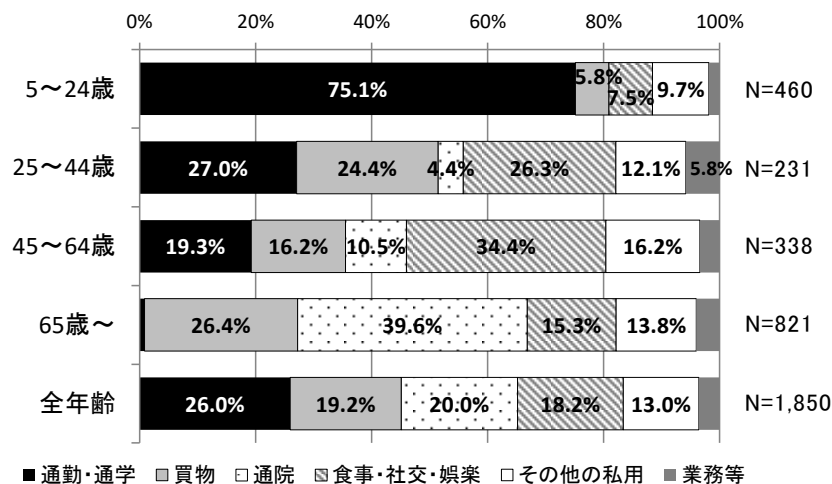


図 2-148 年齢階層別のこの1年間での路線バスの利用頻度

## 2) 路線バスの利用目的

路線バスの利用目的は、年齢によって異なる。24歳以下では通勤・通学での利用が75%と最も多い。25～64歳では各目的で利用されているが、45～64歳は「食事・社交・娯楽」での利用が多い。65歳以上の高齢者は、「通院」での利用が最も多い。



注1：拡大値集計

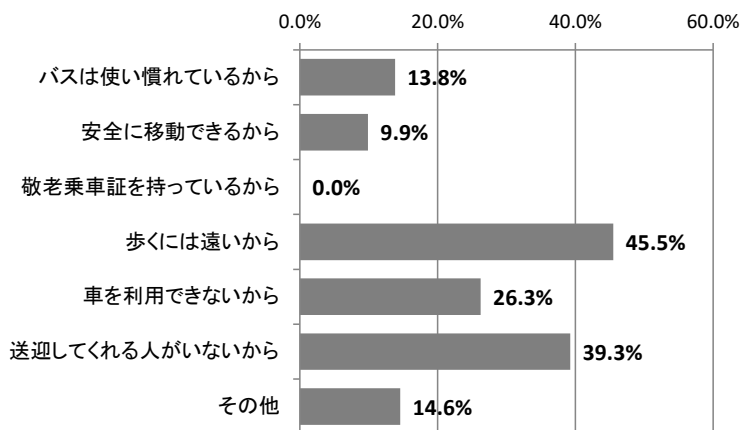
注2：この1年間で路線バスを利用した方で、バスで最もよく行った施設への利用目的を集計。目的不明は除く

図 2-149 年齢階層別の路線バスの利用目的

## 3) 路線バスの利用理由

5～24歳で最も多いバス利用の理由は、「歩くには遠いから」であり、次に「送迎してくれる人がいないから」となっている。

### 【5～24歳】



注1：拡大値集計

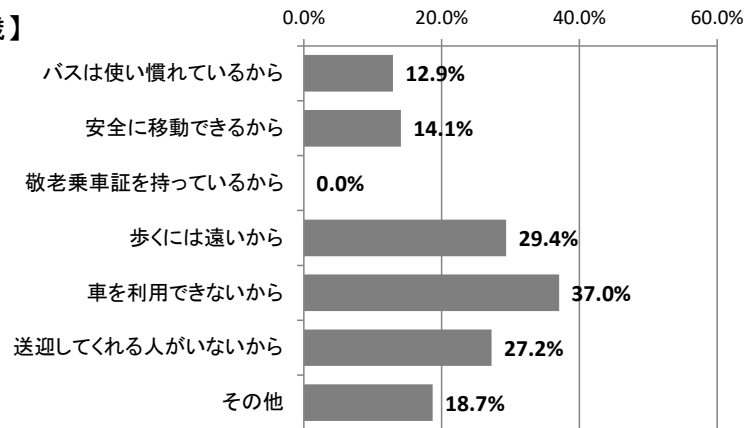
注2：この1年間で路線バスを利用した方で、バスの利用目的を集計

注3：理由は複数選択のため、理由ごとに選んだ回答人数の割合を集計

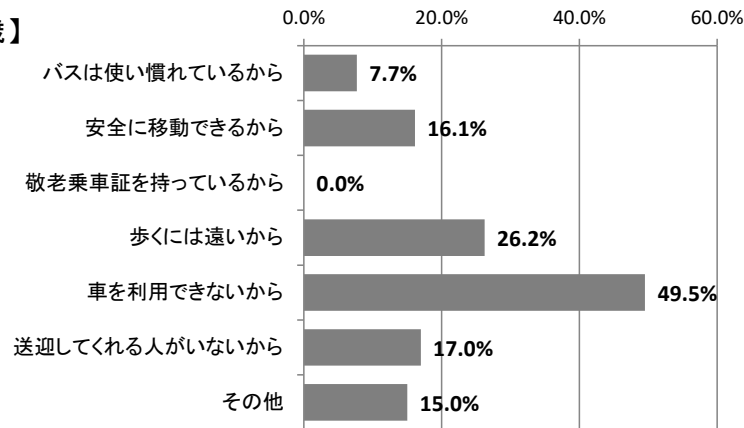
図 2-150 年齢階層別の路線バス利用理由の回答率 (1/2)

25～44 歳、45～64 歳で最も多いバス利用の理由は、「車を利用できないから」であり、65 歳以上では「敬老乗車証を持っているから」が最も多い。

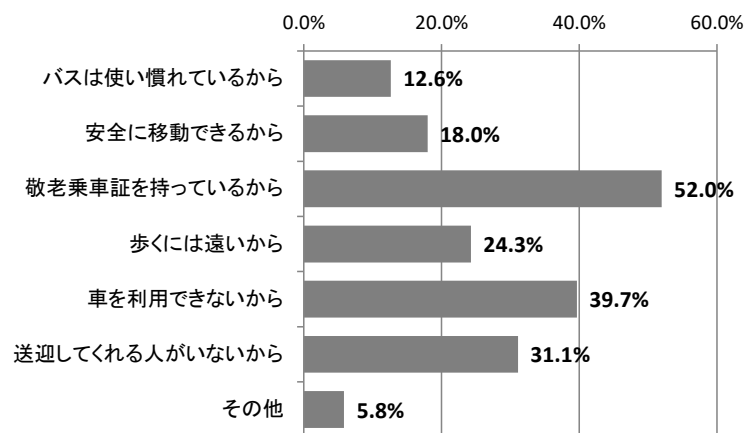
【25～44 歳】



【45～64 歳】



【65 歳～】



注 1：拡大値集計

注 2：この 1 年間で路線バスを利用した方で、バスの利用目的を集計

注 3：理由は複数選択のため、理由ごとに選んだ回答人数の割合を集計

図 2-151 年齢階層別の路線バス利用理由の回答率 (2/2)

#### (4) この1年間でのタクシーの利用状況

##### 1) タクシーの利用状況

この1年間でタクシーを利用したことがある割合は、5～24歳の若年層で約4%、25歳以上は約11%である。利用した方の利用頻度は、どの年齢階層でも「年に数回」との回答が多く6割を超える。

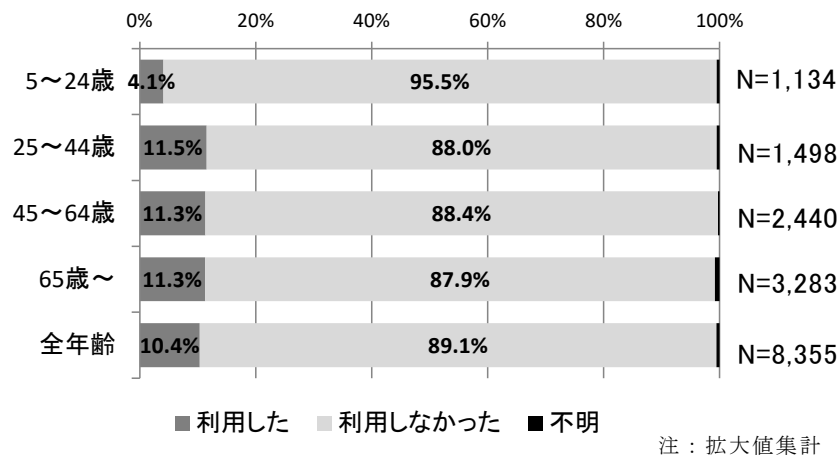


図 2-152 年齢階層別のこの1年間でのタクシーの利用有無

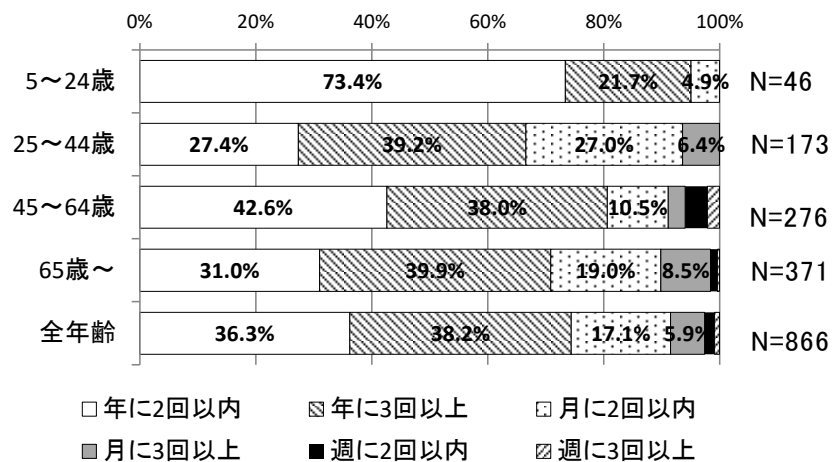
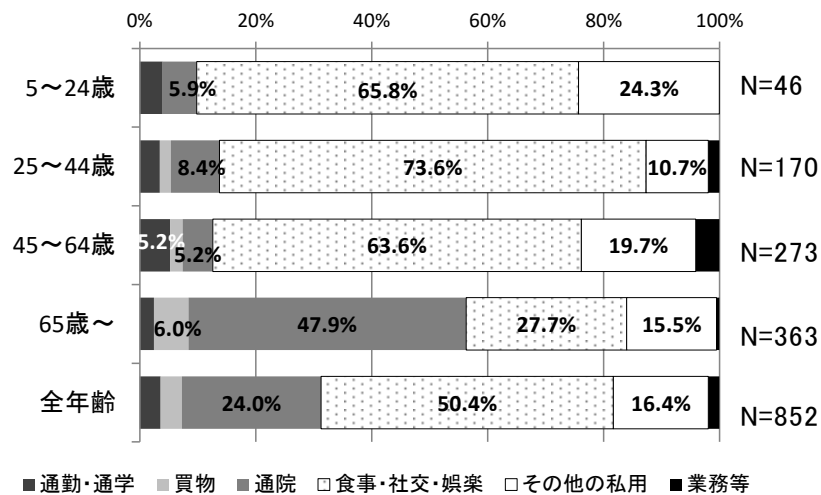


図 2-153 年齢階層別のこの1年間でのタクシーの利用頻度

## 2) タクシーの利用目的

タクシーの利用目的は、64歳以下では、「食事・社交・娯楽」での利用が最も多く、65歳以上は「通院」での利用が約半数と最も多い。



注1：拡大値集計

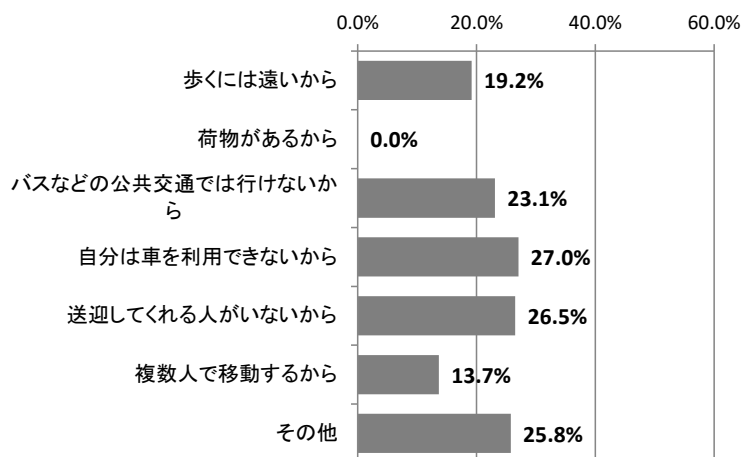
注2：この1年間でタクシーを利用した方で、タクシーで最もよく行った施設への利用目的を集計。目的不明は除く

図 2-154 年齢階層別のタクシーの利用目的

## 3) タクシーの利用理由

5~24歳でのタクシー利用の理由は、「自分は車を利用できないから」、「送迎してくれる人がいないから」が多い。

### 【5~24歳】



注1：拡大値集計

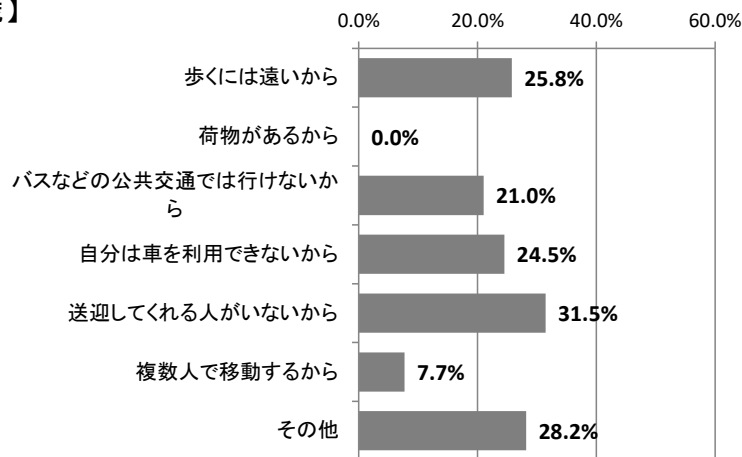
注2：この1年間でタクシーを利用した方で、タクシーの利用目的を集計

注3：理由は複数選択のため、理由ごとに選んだ回答人数の割合を集計

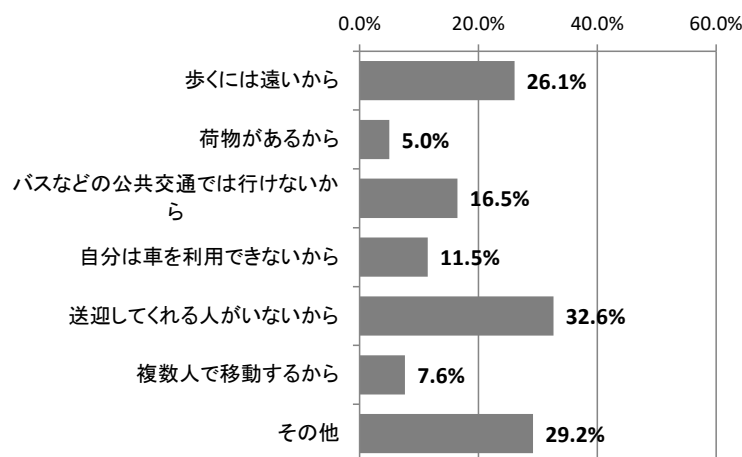
図 2-155 年齢階層別のタクシー利用理由の回答率 (1/2)

25歳以上でのタクシー利用の理由は「送迎してくれる人がいないから」が最も多く、特に65歳以上での回答は約半数に達する。

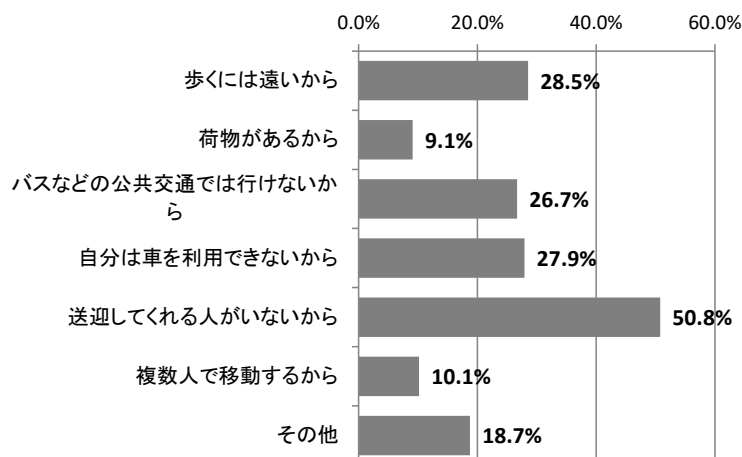
【25～44歳】



【45～64歳】



【65歳～】



注1：拡大値集計

注2：この1年間でタクシーを利用した方で、タクシーの利用目的を集計

注3：理由は複数選択のため、理由ごとに選んだ回答人数の割合を集計

図 2-156 年齢階層別のタクシー利用理由の回答率 (2/2)

## (5) 今後の居留意向について

### 1) 今後の居留意向

「住み続けたい」との回答は、全年齢では約 86%であるが、年齢が上がるにつれて高まっている。最も居留意向が低い 12～24 歳でも「住み続けたい」との回答は、約 57%と半数を超える。

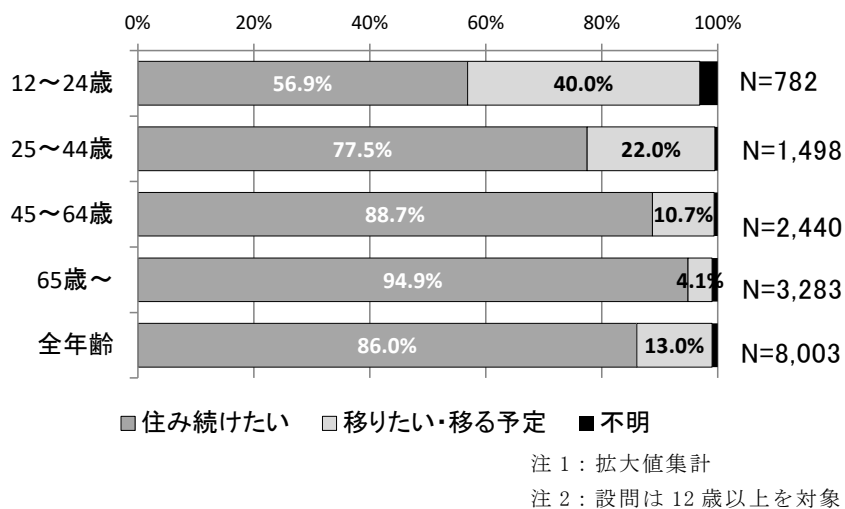


図 2-157 年齢階層別の今後の居留意向

### 2) 住み続けたい理由

12～24 歳では「住み慣れているから」の回答が多く、男女ともに約 80%程度である。

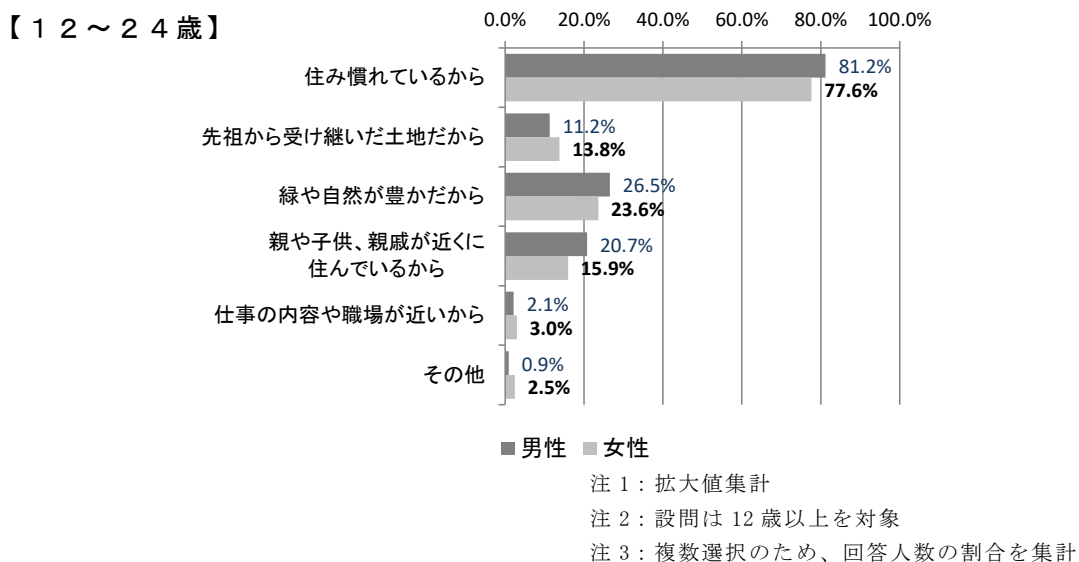
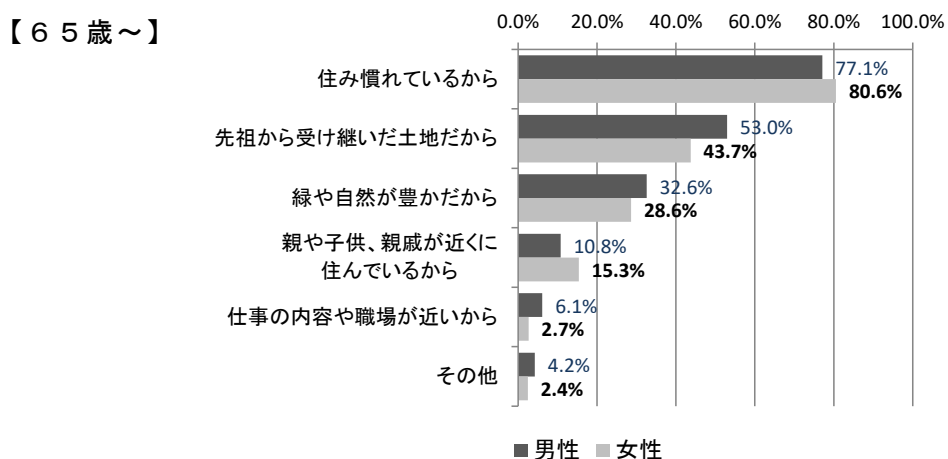
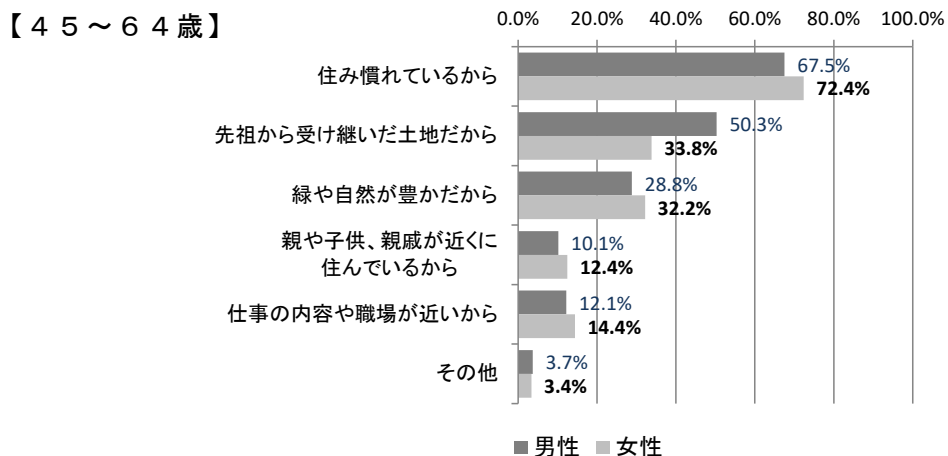
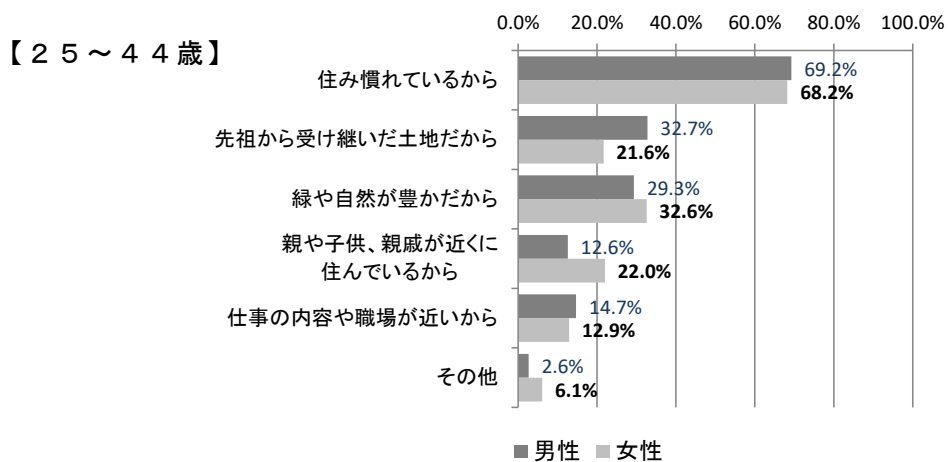


図 2-158 年齢階層別の住み続けたい理由の回答率 (1/2)



25歳以上はどの年齢でも「住み慣れているから」の回答が最も多いが、12～24歳の若年層と異なり「先祖から受け継いだ土地だから」の回答が占める割合も多い。



注1：拡大値集計

注2：設問は12歳以上を対象

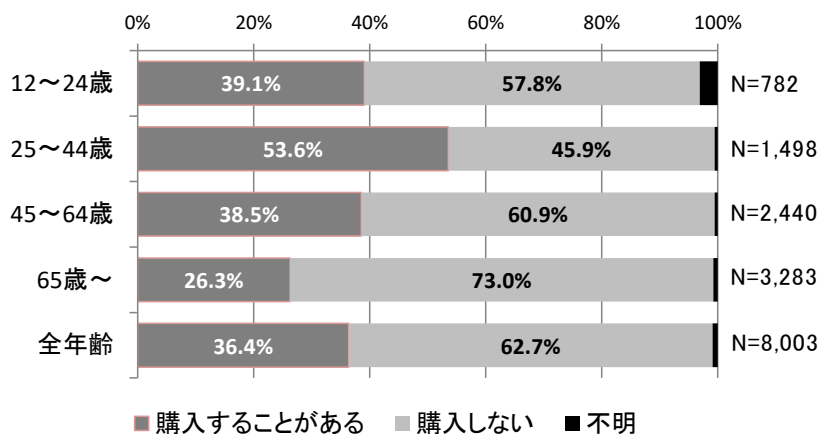
注3：複数選択のため、回答人数の割合を集計

図 2-159 年齢階層別の住み続けたい理由の回答率 (2/2)

## (6) 移動販売やネットショッピング等の利用について

### 1) 購入経験・購入手段

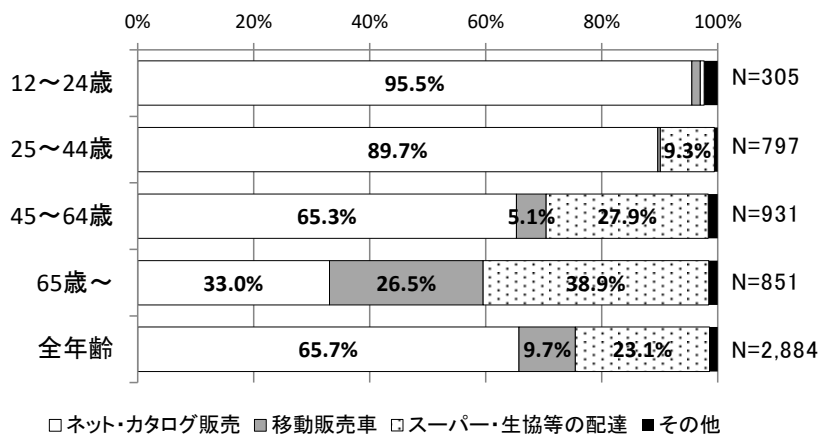
移動販売やネットショッピング等で購入した経験がある方は全年齢で約 36%であり、25～44 歳が他の年齢より多く約 54%に購入経験がある。65 歳以上の高齢者でも約 26%は購入経験がある。購入の手段は、44 歳以下は「ネット・カタログ販売」が多いが、65 歳以上では「移動販売車」や「スーパー等の配達利用」も多い。



注 1：拡大値集計

注 2：設問は 12 歳以上を対象

図 2-160 年齢階層別の移動販売やネットショッピング等の利用経験



注 1：拡大値集計

注 2：設問は 12 歳以上を対象

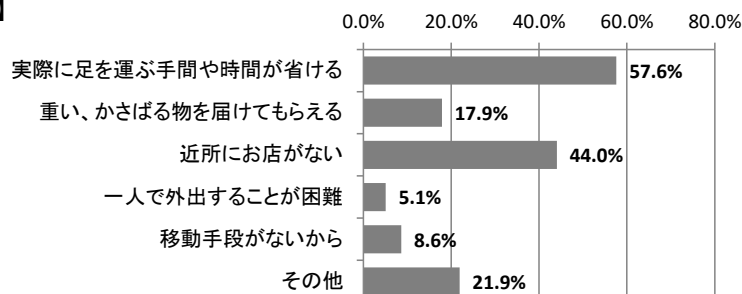
注 3：購入経験のある方で、最も利用する手段を集計。手段不明を除く

図 2-161 年齢階層別の移動販売やネットショッピング等の利用手段

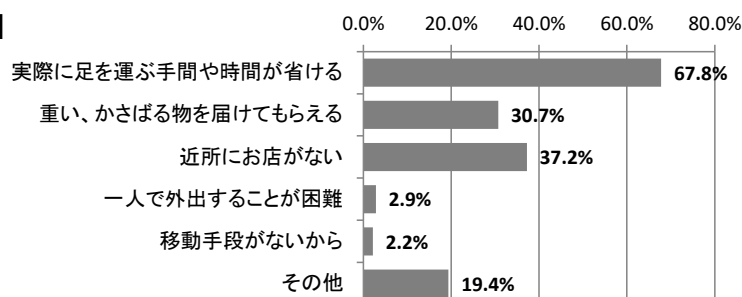
## 2) 利用する理由

12～24歳と65歳以上では、「実際に足を運ぶ手間や時間が省ける」と「近所にお店がない」の2つの理由が多い傾向である。25～44歳と45～64歳では、「実際に足を運ぶ手間や時間が省ける」が、他の理由より多い傾向がみられる。

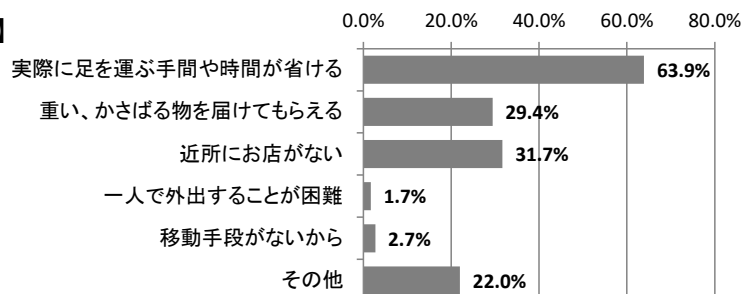
### 【12～24歳】



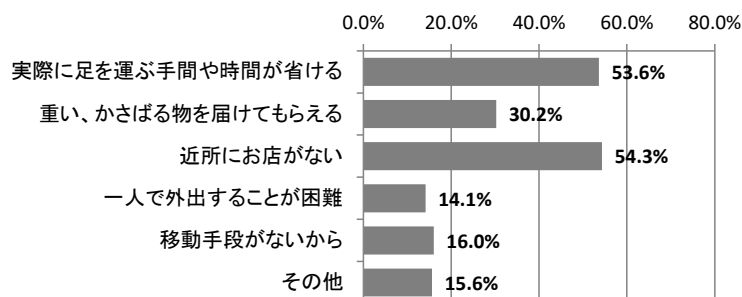
### 【25～44歳】



### 【45～64歳】



### 【65歳～】



注1：拡大値集計

注2：設問は12歳以上を対象

注3：複数選択のため、回答人数の割合を集計

図 2-162 年齢階層別の移動販売やネットショッピング等の利用理由



## 2.8.2 基本的なトリップ特性の比較

### (1) 外出率・人口1人あたりトリップ数・外出者1人あたりトリップ数

- ・ 外出率、人口1人あたりトリップ数、外出者1人あたりトリップ数ともに、仙台都市圏より山形広域都市圏の方が高くなっている。

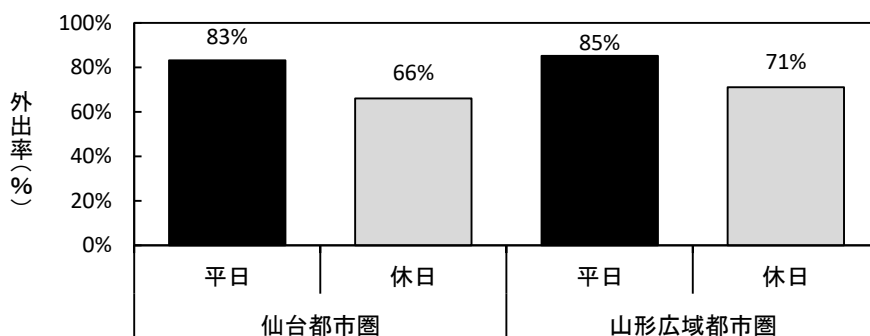


図 2-164 外出率

※山形広域都市圏のデータは、平成 29 年山形広域都市圏パーソントリップ調査より算出

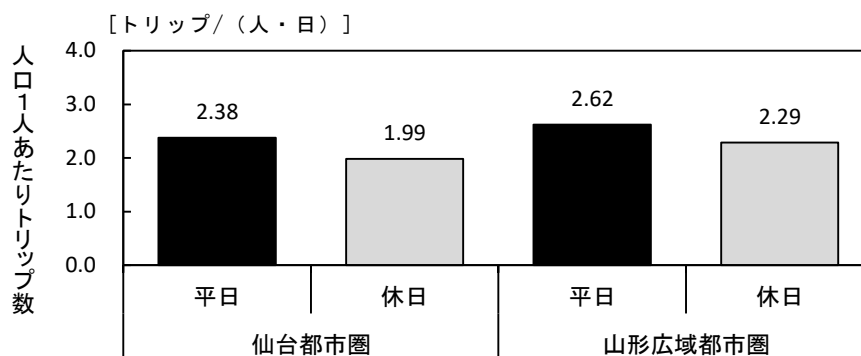


図 2-165 人口1人あたりトリップ数

※山形広域都市圏のデータは、平成 29 年山形広域都市圏パーソントリップ調査より算出

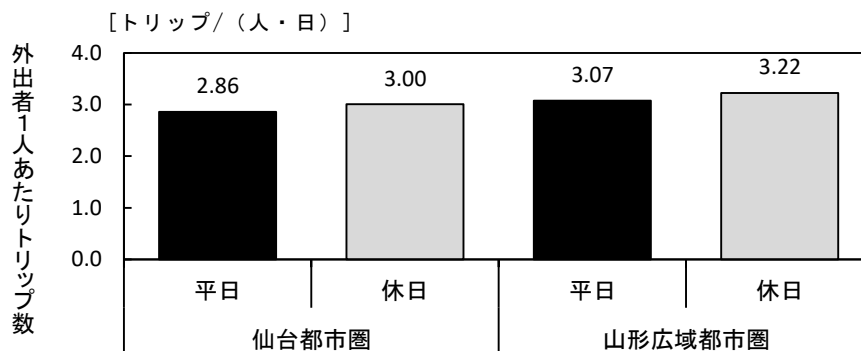


図 2-166 外出者1人あたりトリップ数

※山形広域都市圏のデータは、平成 29 年山形広域都市圏パーソントリップ調査より算出

## (2) 両都市圏の代表交通手段分担率

- 平日・休日ともに、山形広域都市圏に比べ、仙台都市圏は鉄道やバスなどの公共交通分担率が高く、自動車分担率が低くなっている。

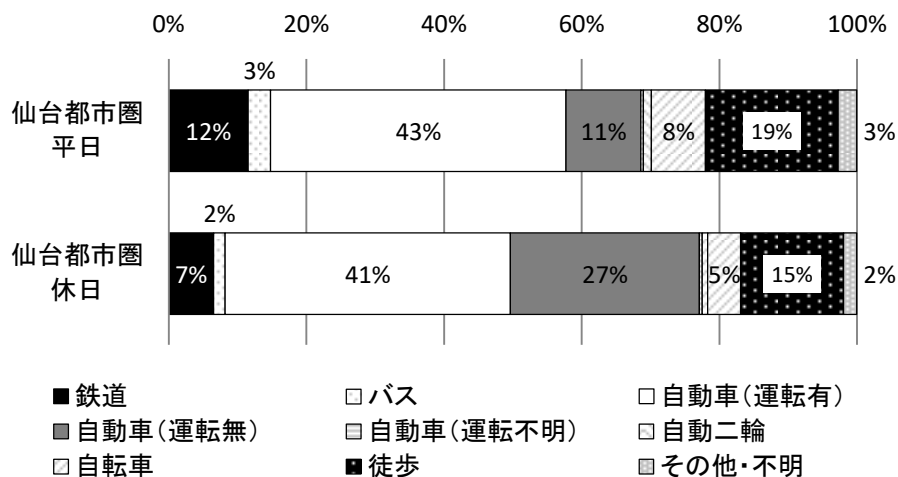


図 2-167 代表交通手段分担率（仙台都市圏）

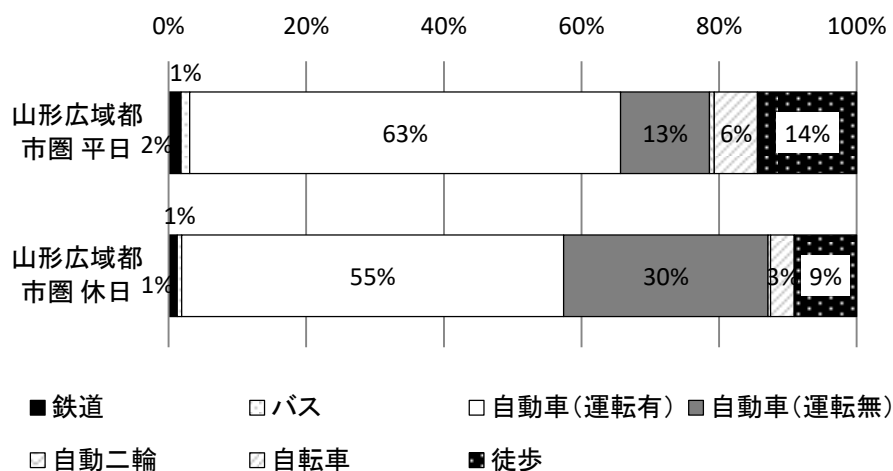


図 2-168 代表交通手段分担率（山形広域都市圏）

※山形広域都市圏のデータは、平成 29 年山形広域都市圏パーソントリップ調査より算出  
 ※:山形広域都市圏は「自動車(運転者不明)」「その他」「不明」除く

### (3) 両都市圏の目的種類別平均所要時間

- ・どの目的においても、山形広域都市圏よりも仙台都市圏のほうが、平日のトリップの平均所要時間が長い。

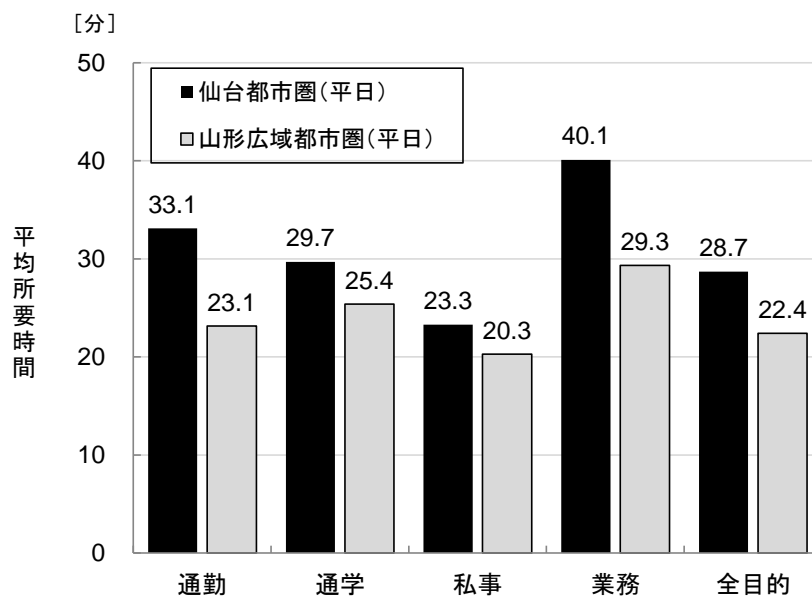


図 2-169 目的別平均所要時間（平日）

※山形広域都市圏のデータは、平成 29 年山形広域都市圏パーソントリップ調査より算出

## 2.8.3 互いの都市圏を来訪するトリップの特性

### (1) 互いの都市圏を来訪するトリップ数

- ・ 仙台都市圏居住者が都市圏外へ行くトリップのうち、平日 6.5%、休日 8.5%が山形広域都市圏を訪れている。
- ・ 山形広域都市圏居住者が都市圏外へ行くトリップのうち、平日 13.8%、休日 15.5%が仙台都市圏を訪れている。
- ・ トリップ数で見ると、平日は両方向ともに約 5,000 トリップ、休日は両方向ともに約 6,000 トリップが、互いの都市圏に来訪している。

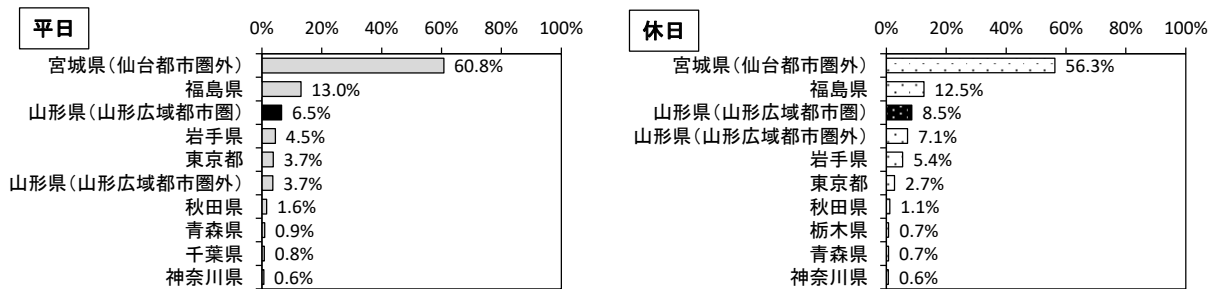


図 2-170 仙台都市圏居住者が都市圏外へ行くトリップの方面別構成

※トリップ数が多い上位 10 地域のみ表示

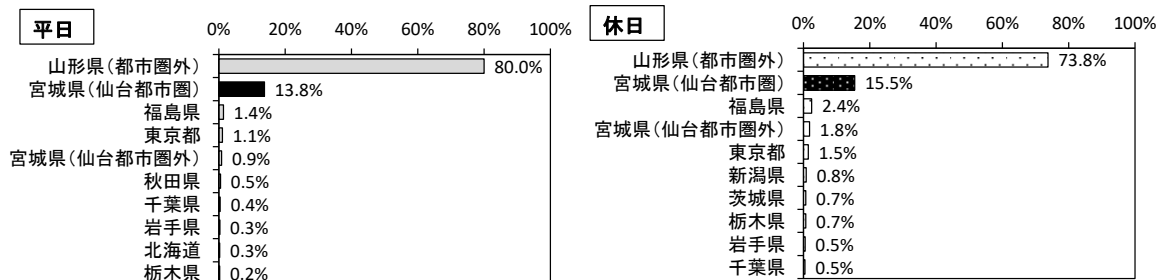


図 2-171 山形広域都市圏居住者が都市圏外へ行くトリップの方面別構成

※山形広域都市圏のデータは、平成 29 年山形広域都市圏パーソントリップ調査より算出

※トリップ数が多い上位 10 地域のみ表示

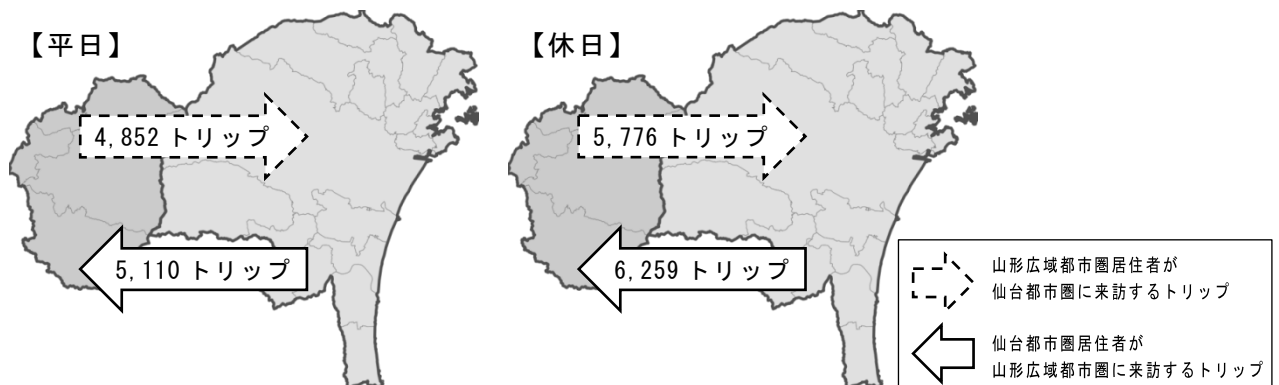


図 2-172 互いの都市圏を来訪するトリップ数

※山形広域都市圏のデータ(破線矢印のトリップ数)は、平成 29 年山形広域都市圏パーソントリップ調査より算出



## (2) 互いの都市圏を来訪するトリップの代表交通手段分担率・目的構成

- 互いの都市圏を来訪するトリップの目的構成は、平日は通勤・通学が約 5 割を占め、残りが業務・私事となっている。休日は約 9 割を私事目的が占め、どちらの方向のトリップをみても、概ね同様の構成になっている。
- 代表交通手段を見ると、仙台都市圏から山形広域都市圏へ訪れる場合、平日は自動車分担率が約 5 割を占め、高速バスと鉄道が合わせて約 4 割を占める。休日は約 9 割が自動車利用になっている。
- 山形広域都市圏から仙台都市圏へ訪れる場合、仙台都市圏から山形広域都市圏へ向かう場合よりも公共交通の分担率が、平日・休日ともに高くなっている。

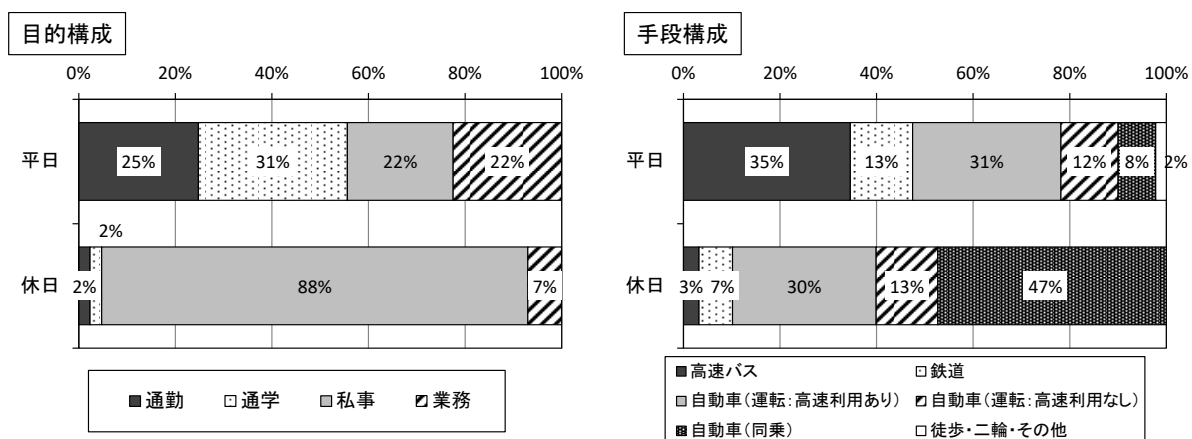


図 2-173 仙台都市圏居住者が山形広域都市圏へ訪れるトリップの目的構成・代表交通手段分担率

※目的構成は「不明」除く  
 ※手段分担率は「自動車(運転者不明)」「自動車(高速利用不明)」「不明」除く

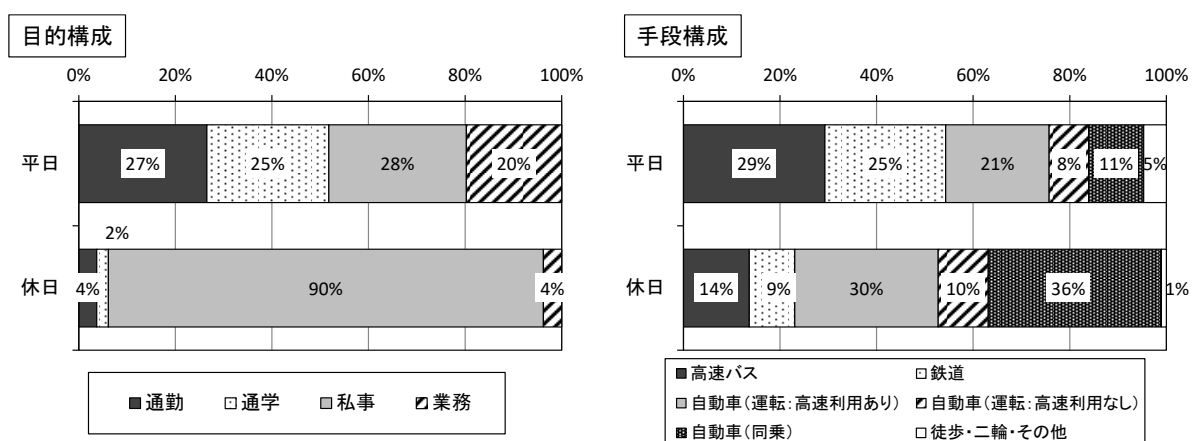


図 2-174 山形広域都市圏居住者が仙台都市圏へ訪れるトリップの目的構成・代表交通手段分担率

※目的構成は「不明」除く  
 ※手段分担率は「自動車(運転者不明)」「自動車(高速利用不明)」「不明」除く  
 ※山形広域都市圏のデータは、平成 29 年山形広域都市圏パーソントリップ調査より算出